



第3期地域福祉活動計画
平成28年度～平成32年度



平成28年3月
社会福祉法人 交野市社会福祉協議会



《 はじめに 》

交野市社会福祉協議会では、平成 27 年度に第 3 期交野市地域福祉活動計画（平成 28 年度～平成 32 年度）を策定いたしました。この校区福祉委員会アクションプランは、それぞれの地域特性に合わせた取り組みを進めるため、校区福祉委員会が主体となり、地域懇談会を開催し、地域の皆様のご意見をもとに作成いたしました。

このアクションプランは、地域の皆様が主役となり、より良い地域づくりを目指すための行動計画です。地域の皆様お一人おひとりが、地域を愛し、地域のつながりを感じ、安心して暮らせる地域だと思って頂けるようになれば幸いです。

《 目次 》

校区福祉委員会とは・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1

校区福祉委員会アクションプラン

1. 旭小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.3
2. 岩船小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.7
3. 交野小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.11
4. 私市小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.15
5. 倉治小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.19
- 6-1. 郡津小学校区福祉委員会（郡津地区）・・ P.23
- 6-2. 郡津小学校区福祉委員会（幾野地区）・・ P.27
- 6-3. 郡津小学校区福祉委員会（松塚地区）・・ P.31
7. 長宝寺小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.35
8. 藤が尾小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.39
9. 星田小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.43
10. 妙見坂小学校区福祉委員会・・・・・・・・ P.47



校区福祉委員会とは

校区福祉委員会ってなんだろう???

地域に暮らす人々が、「ふだんの 暮らしの しあわせ」を支え合う福祉のまちづくりを目指して、交流活動や見守り・声かけ活動など、主体的に取り組む「住民による、住民のための」自発的な組織です！
交野市内には 10 の小学校区福祉委員会があります。



誰がしているの???

区長、自治会役員、民生委員児童委員、主任児童委員、老人会、青少年指導員、更生保護女性会、保護司、子ども会、PTA、ボランティア、福祉施設職員などの皆さんで構成されています。



活動の範囲（エリア）は???

お住まいの地域の小学校に通う児童の通学圏が活動の範囲になります。



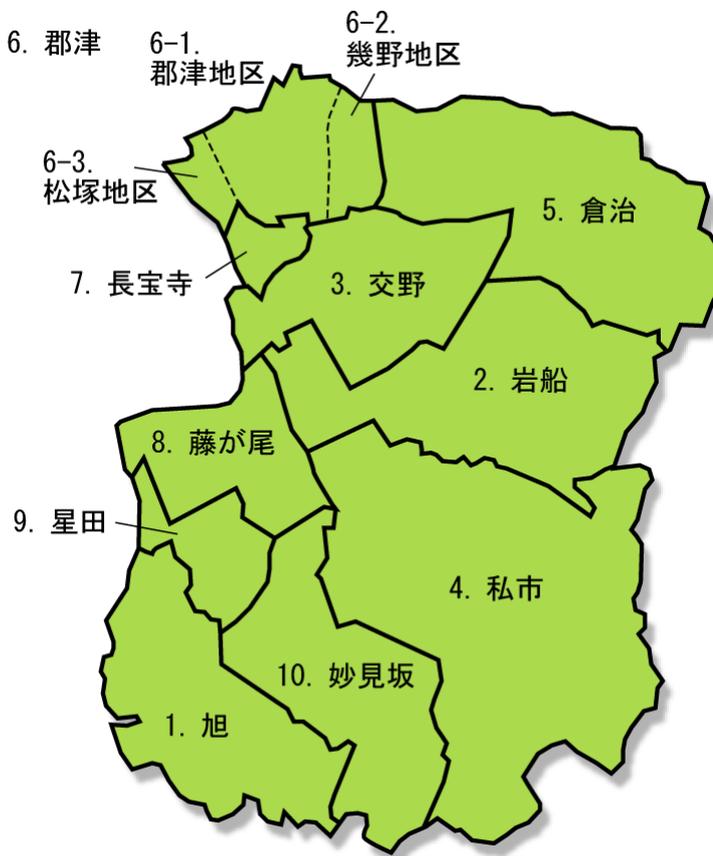
どんな活動をしているの？

- サロン活動 : いきいきふれあいサロン、子育てサロン、喫茶、映画会
元気アップ、一人暮らし高齢者懇談会など
- 世代間交流 : 昔遊び、グラウンドゴルフ、もちつきなど
- あいさつ運動 : あいさつ・声かけ運動、通学児童の見守りなど
- 啓発活動 : 広報紙の発行、ホームページの作成など
- 個別援助活動 : 一人暮らし高齢者への訪問など

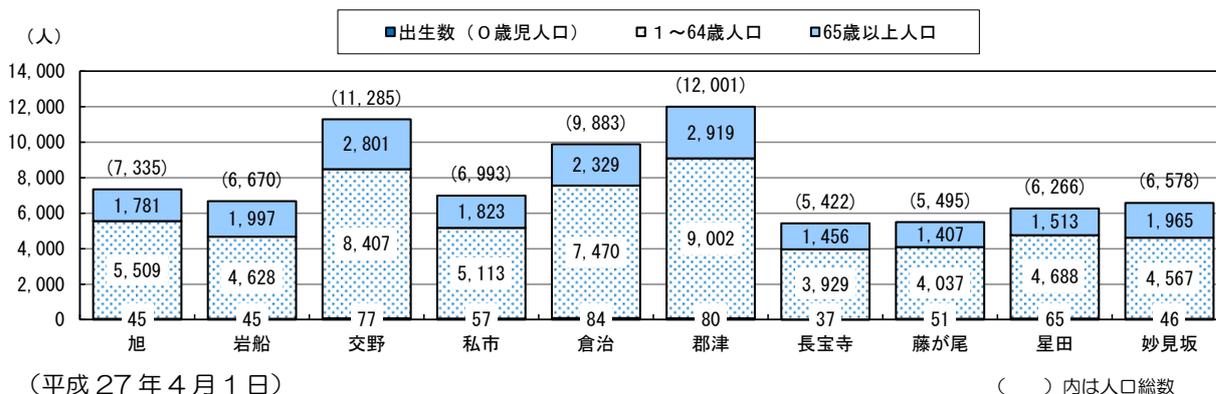
※校区によって活動が異なりますので、詳しくは社協までお問い合わせください。



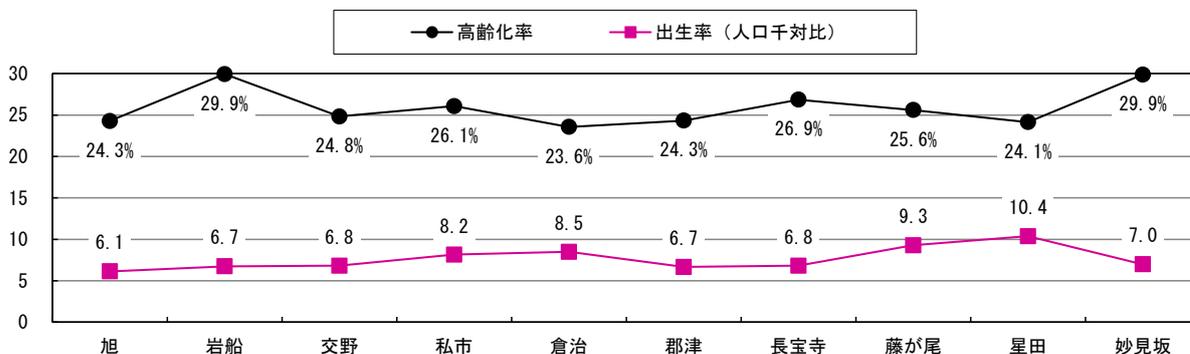
■校区の位置



■校区別人口



■校区別高齢化率と出生率 (人口千対比)



※高齢化率は人口百人に対する高齢者数の割合、出生率は人口千人に対する出生数の割合

1. 旭小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の南西の端に位置し、地域は、星田、星田山手、星田西の3つの区で構成されている。星田は旧家、戸建て、マンションが混在、星田山手は戸建て住宅が建ち並び閑静な住宅地、星田西は平成3年頃に宅地開発された新しい地域で、地区によって特徴がある。

地域住民の状況

◎人口 7,335人（全市の9.4%）
◎世帯数 2,797世帯（全市の8.9%）
◎高齢化率 24.3%（全市平均25.7%）

（平成27年4月1日現在）

◎出生率（人口千対比） 6.1（全市7.5）
◎小学校児童数 386人
◎要介護（要支援）認定者数 474人
◎障がい者手帳所持者 186人
（身体障害者手帳は1・2級のみ）

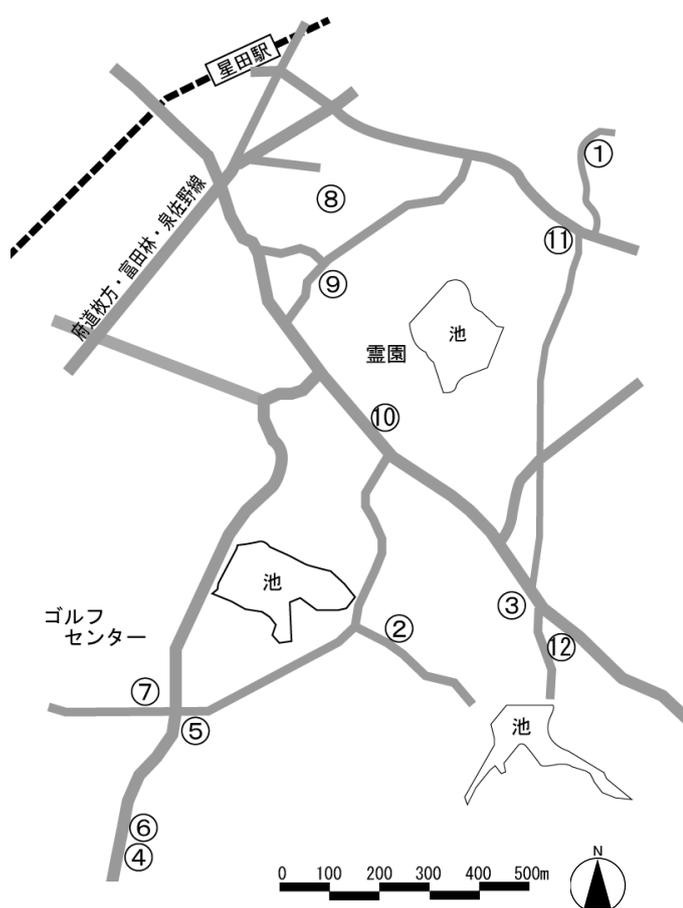
地域の資源

《拠点等》

- ①星田会館
- ②星田山手自治会館
- ③星田山手東集会所
- ④星田西体育施設
- ⑤ふれあいプラザ
- ⑥星田西3丁目集会所
- ⑦星田西4丁目集会所
- ⑧旭小学校
- ⑨高岡幼稚園
- ⑩ぽっかぽか7丁目保育園
- ⑪特別養護老人ホーム明星
軽費老人ホーム明星
- ⑫きんもくせい特別養護老人ホーム

《人的資源》

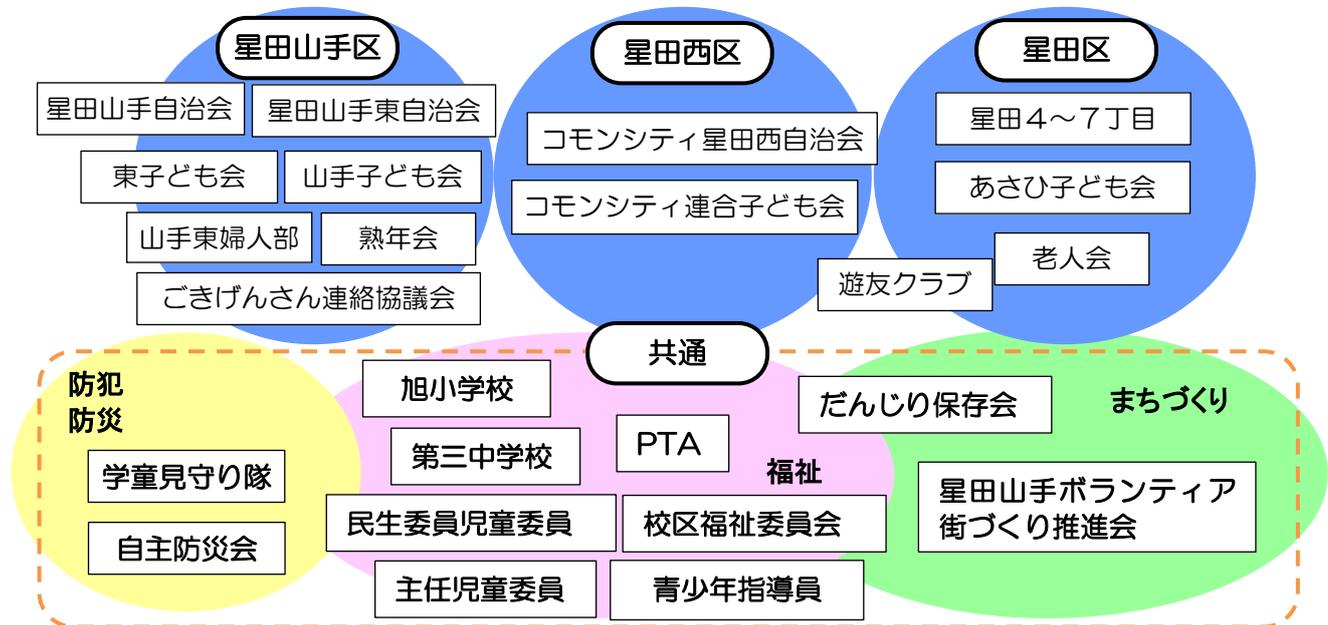
- ・自治会数：4カ所
- ・校区福祉委員：59人
- ・民生委員児童委員：9人



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織

自治



現在の地域の取り組み

	名称	開催場所	日時	実施主体
校区	いきいきサロン	星田西3丁目集会所、星田山手自治会館	月1回（第1土）	校区福祉委員会
	子育てサロン	星田山手東集会所、星田西3丁目集会所	月2回（第2水、第3金）	校区福祉委員会
	サロン街かど	星田山手東集会所	月4～5回（毎水）	校区福祉委員会
	地域の勉強部屋	星田山手東集会所	中間及び期末試験の1W前	校区福祉委員会
	小学生児童の見守り	通学路の交差点	月～金（祝日除く）	学童見守り隊
星田区	七夕祭り（妙見まつり）	星田妙見河原	7月23日	だんじり保存会
	サマーフェスタ	星田公園	8月22日	区及び街づくり推進会
	秋祭り	星田神社	毎年10月	同上
星田山手区	盆踊り&夏祭り	星田山手イベント広場	毎年8月	同上
	お花見	傍示川沿い	毎年4月	同上
	コスモス祭り	星田山手イベント広場	毎年10月	同上
	どんど焼き	星田山手イベント広場	毎年1月	同上
	山ナリエ	星田山手住宅街	毎年11月末～12月末	同上
	芋掘り大会／文化祭／防災訓練	地域の農園／山手自治会館／広場	10月／11月／11月	自治会
	元気アップ体操教室	星田山手自治会館	月2回（第1・3火）	自治会
星田西区	コモンシティフェスティバル	星田西体育施設・南公園	10月第3日曜日	自治会
	防災訓練／どんど焼き	星田西体育施設・南公園	1月第3日曜日	自治会
	マーじゃん	星田西3丁目集会所	週1回（火）	遊友クラブ
	パターゴルフ	南公園	週1回（水）	遊友クラブ

私たちの地域

地域のよいところ

- 環境が良い。空気がきれい。
- 自治会加入率が高い。(星田山手、星田西はほぼ 100%)
- 地域活動が活発で、まとまりがある。
- 星田山手区でモデル的に実施している、ごきげんさん連絡協議会がよく機能している。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ■地区により特性が異なり、方向性をまとめるのは難しい面がある。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ■マンションは日常的な近所づきあいが少ない。 ■星田区は3校区に分かれている。 ■旭小学校区は3行政区で構成されている。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ■坂が多く、駅や集会所まで歩くのが大変な地域がある。 ■買い物や医療機関の受診が不便。 ■ゆうゆうバスが不便。停車ルートを変更してほしい。
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■空き家が増えている。(星田山手には 30 軒くらいある。) ■見通しが悪く、車のスピードが出ていると危険な箇所がある。 ■自転車マナーが悪い。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの遊び場が少なく、遊びの種類が制限されている。 ■地域によって子ども会活動に差がある。 ■虐待、貧困等の把握と支援も必要
地域支援 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■サロンなどの活動の運営者や民生児童委員、ボランティア街づくり推進会の平均年齢が高く、次代の人材育成が大きな課題。 ■PTA 等をしていないと、現役世代同士で知り合える機会が少なく、横のつながりがない。 □坂が多く、比較的広い住宅が多いことから、外出支援や生活に関する支援ニーズが多い。 □元気アップ体操が1か所しか実施されていない。介護予防活動を育成する必要がある。 ■全体では児童数が減少している一方、新興住宅地に越してくる若い世代や子どもたちの見守りをどう行っていくか。 ■星田6丁目は話し合いの場所がない。 ■まつりなどの情報が、校区全域にいきわたらない。

■は地域懇談会であげられた課題 □社協・地域包括の視点からみた課題

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

◀旭小学校区の目標▶

子ども・大人・高齢者がつながる街づくり

◀私たちのこれからの取り組み▶

◎子育て支援と世代間交流の活性化

- ◇子育てサロン参加者の拡大
- ◇子どもの居場所づくりの定着
- ◇キッズイベントの充実
- ◇中高生のための「地域の勉強部屋」の定着（認知度アップ）
- ◇小中学校との連携（旭小学校土曜教室・旭まつり、三中ふれあいフェスティバル等）
- ◇学童見守り隊の充実と地域パトロールの実施

◎地域の人材交流

- ◇「大人会」等地域の担い手の発掘と支援
- ◇自治会、PTA、子ども会、熟年会・遊友クラブとの連携
- ◇校区福祉委員会への参加

◎高齢者支援

- ◇「ごきげんさん連絡協議会」の継続実施（星田山手区）
- ◇サロン活動の継続（ふれあいいきいきサロン、サロン街かど）
- ◇高齢者訪問活動の再検討
- ◇交野市避難行動要支援者事業「おりひめささえ愛プロジェクト」の推進（星田西）
- ◇買い物等移動手段の確保に向けた総合的な検討

◎その他

- ◇空き家活用法の検討
- ◇安全マップ作り（地域の不安全・危険箇所の調査）

2. 岩船小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の東部に位置し、旧家と駅周辺の新興マンションからなる森地区、旧家と戸建て新興住宅からなる寺地区、昭和45年頃に開発された住宅と社宅からなる天野が原地区、6世帯の集落である傍示地区で構成されている。地域活動は、森、寺、天野が原の3地区において独自性を活かして実施しながら、各地区の連携を図り、校区としてまとめ、活動を展開している。

地域住民の状況

◎人口 6,670人（全市の8.6%）
◎世帯数 2,776世帯（全市の8.8%）
◎高齢化率 29.9%（全市平均25.7%）

（平成27年4月1日現在）

◎出生率（人口千対比） 6.7（全市7.5）
◎小学校児童数 373人
◎要介護（要支援）認定者数 300人
◎障がい者手帳所持者 180人
（身体障害者手帳は1・2級のみ）

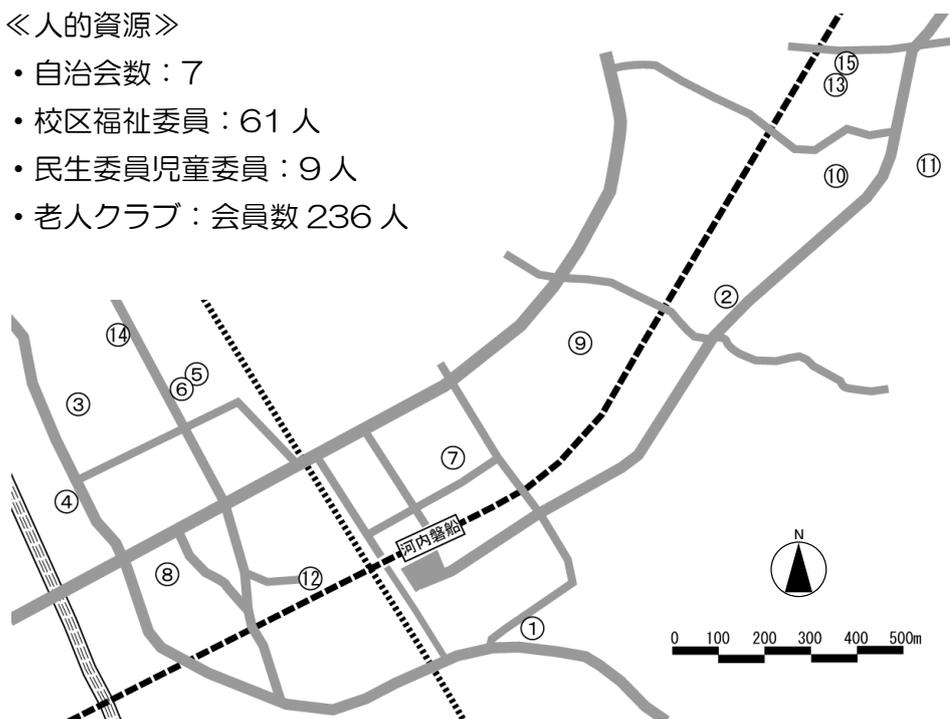
地域の資源

《拠点等》

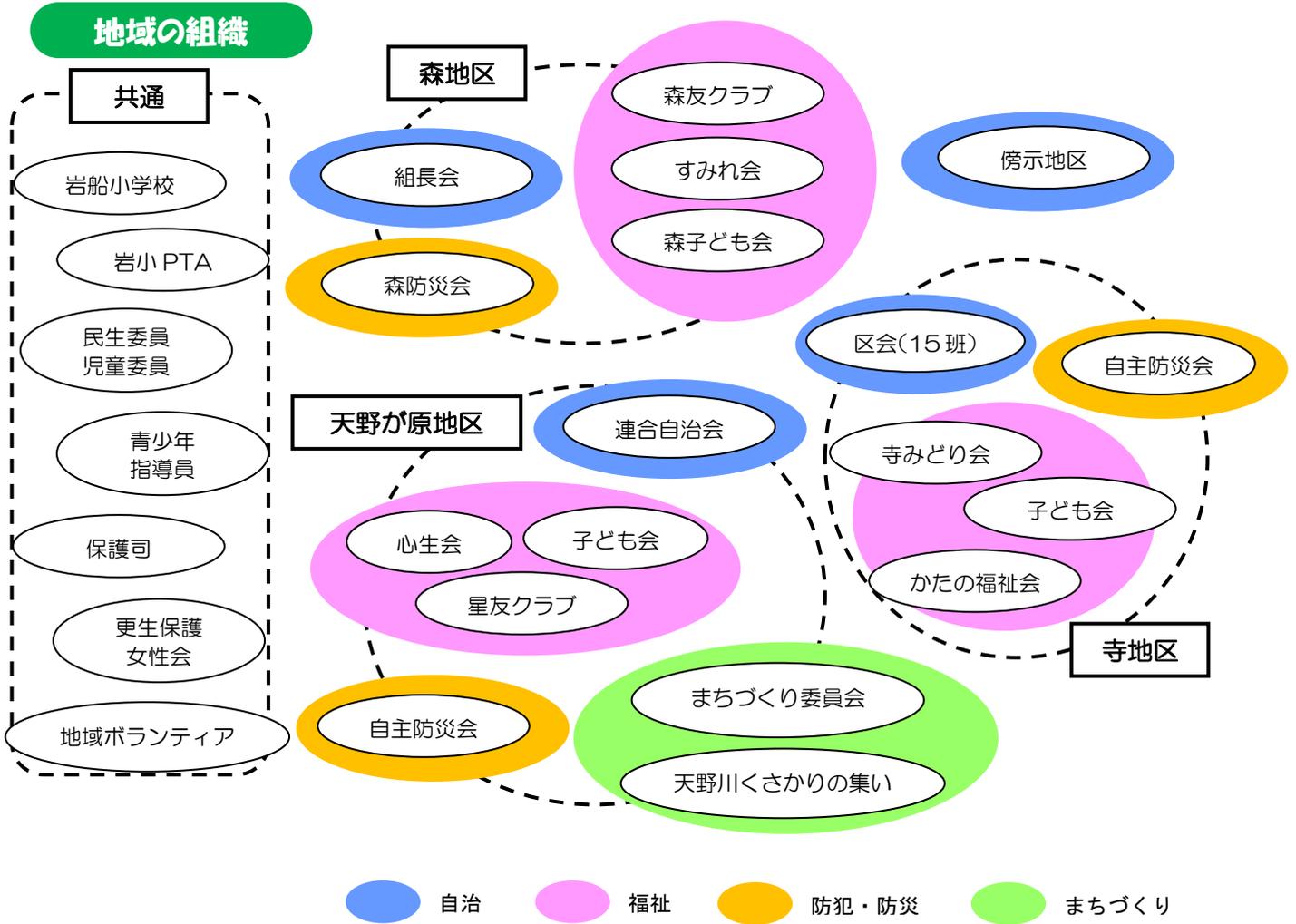
- ①森区民ホール
- ②寺会館
- ③さくら丘会館
- ④天野が原集会所
- ⑤北公園
- ⑥西公園
- ⑦岩船小学校
- ⑧第四中学校
- ⑨府立交野高校
- ⑩府立交野支援学校
- ⑪私立関西創価学園
- ⑫ゆうゆうセンター
- ⑬交野自立センター
- ⑭ミルクウエイ
- ⑮ワークハウスやわらぎ

《人的資源》

- ・自治会数：7
- ・校区福祉委員：61人
- ・民生委員児童委員：9人
- ・老人クラブ：会員数236人



私たちの取り組み（現況編）



現在の地域の取り組み

《校区の活動》

- ・あいさつ・声かけ運動
- ・ふれあいサロン
- ・子育てサロン
- ・パソコン教室
- ・グラウンドゴルフ教室（岩小）
- ・オセロ大会（岩小）
- ・昔の暮らし体験（岩小）
- ・昔あそび体験（岩小）
- ・岩小わいわいフェスタ

《地区独自の活動》

森地区

- ・森なかよし文庫
- ・森友クラブ
- ・すみれ会
- ・区活動
- ・元気アップ体操
- ・子ども会
- ・ラジオ体操

寺地区

- ・寺みどり会
- ・子ども会
- ・消防団
- ・自主防災会
- ・ラジオ体操

天野が原地区

- ・連合自治会
- ・自主防災会
- ・まちづくり委員会
- ・もちつき大会
- ・そうめん流し
- ・百人一首かるた
- ・花見と文化展
- ・七夕祭り
- ・ラジオ体操
- ・星友クラブ
- ・文庫（第1文庫・えんがわ文庫）
- ・天野川くさかりの集い
（アドプトロード・環境フェスタ）
- ・防災サポートさくら

平成27年4月1日現在

私たちの地域

地域のよいところ

- 3地区が一体として活動できており、地域活動に協力的である。
- 交通の便がよく、福祉・医療機関も充実し、利便性が高い。
- 自然環境がよい。
- 旧村地域は、隣近所同士の連帯感が強い。
- 世代を越えた交流機会が多い。
- 新しく入った住民に対する受け入れがよく、行事に声がかかる。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ■新規転入者がまれで、地区全体が高齢化している。(天野が原地区) ■ひとり暮らし高齢者が増えている。(天野が原地区・森地区) ■子どもの減少が著しい。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> □傍示、寺地区は駅から離れており、坂も多く買い物が不便。
自治組織	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢化によって、自治会脱会者が増えている。(天野が原地区) ■役を引き受けてくれる人が少なくなっている。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ■新旧住民のコミュニケーションがとれていない。 ■マンションが増えて、新規入居者とのつきあい、きっかけがわからない。 ■世代間のコミュニケーションがとりにくい。
子ども 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ■遊び場がない。公園が少ない。 ■話すきっかけがないため、子育て家庭の状況がわからない。
地域支援 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティアの不足。高齢化により活動できる人が減少してきている。 ■認知症の方や徘徊の見守りが必要だが、手が足りないし、どこまで他人の家庭に入ってよいかの判断が難しい。 ■避難行動要支援者名簿に登録していない人の把握が難しい。 ■避難行動要支援者名簿に登録していても、手助けや訪問を拒む人がいる。 ■男性高齢者の活動が少ない。男性は行事に参加しにくい。
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ■暗い道がある。(須称寺付近) ■JR 東側の通路はバイクが通行可能で、子どもや車いす利用者は危険。 ■空き家が増えてきている。 □消費者被害や空き巣被害が増えてきている。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票より

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

〈岩船小学校区の目標〉

私たちは、住民の皆様一人ひとりが、地域とのつながりを実感し、よろこび合える、そんな地域福祉活動を目指します。

〈私たちのこれからの取り組み〉

【新たな取り組み】

- ◎ 男の晩酌研究会
- ◎ みんなでうたおう会
- ◎ コミュニケーションの場づくり、交流の場づくり
(懇談会、まつり、そうめん流し・バーベキューなどのイベント、老人会と子ども会の交流ほか)
- ◎ ボランティア、人材の掘り起し
(多様な知識・経験・技術をもった人)

【現在の取り組み中の校区活動の継続】

- ◎ あいさつ・声かけ運動
- ◎ ふれあいサロン
- ◎ 子育てサロン
- ◎ パソコン教室
- ◎ 岩小わいわいフェスタ
- ◎ グラウンドゴルフ教室
- ◎ オセロ大会
- ◎ 昔のあそび、昔の暮らし体験

3. 交野小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市のほぼ中央部に位置し、市役所や郵便局、商店街等主要な拠点がある。私部、行殿、青山、向井田の4つの区で構成されており、校区内には線路・高速道路が走っている。買い物や交通アクセスが便利な一方、広域であるため、連携がとりづらい側面もある。

地域住民の状況

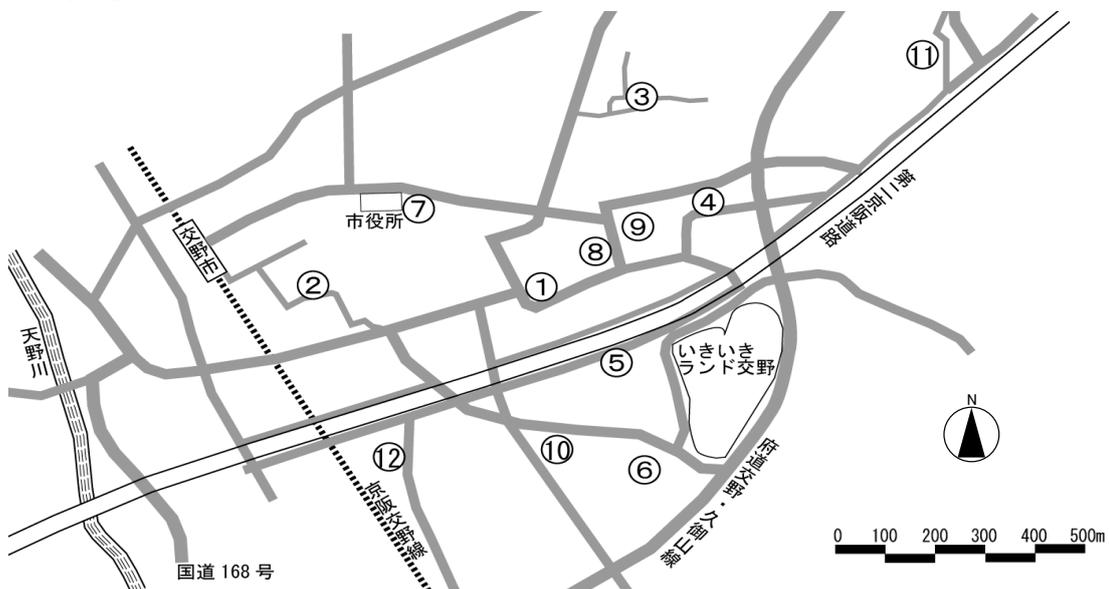
◎人口	11,285人 (全市の14.5%)	◎出生率(人口千対比)	6.8 (全市7.5)
◎世帯数	4,675世帯 (全市の14.9%)	◎小学校児童数	528人
◎高齢化率	24.8% (全市平均25.7%)	◎要介護(要支援)認定者数	556人
		◎障がい者手帳所持者	296人 (身体障害者手帳は1・2級のみ)

(平成27年4月1日現在)

地域の資源

《拠点等》

- | | | |
|---------------------|-----------------|--------|
| ①私部会館 | ②交野市地域子育て支援センター | ③行殿集会所 |
| ④青山自治会集会所 | ⑤向井田集会所 | ⑥私部公園 |
| ⑦わかば保育園 | ⑧私部保育園 | ⑨交野小学校 |
| ⑩第一中学校 | ⑪介護老人保健施設 青山 | |
| ⑫介護老人福祉施設サール・ナートかたの | | |



私たちの取り組み (現況編)

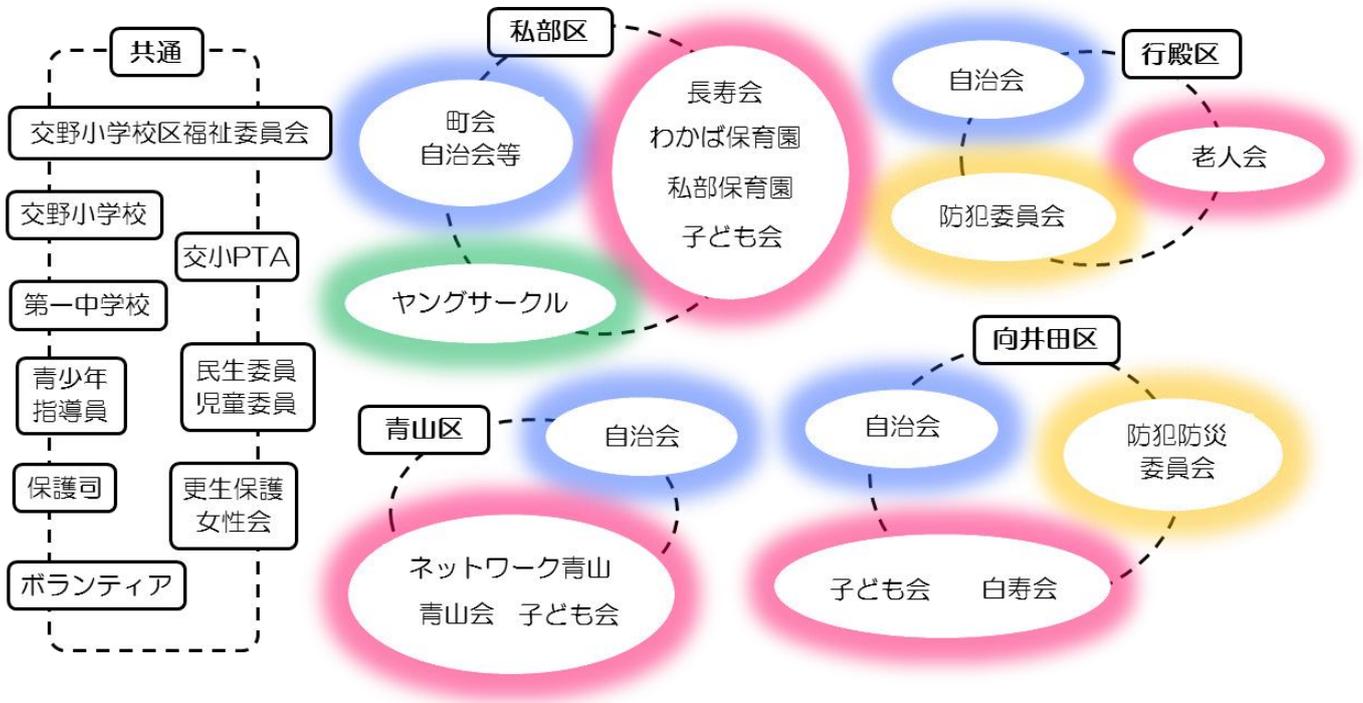
地域の組織

○ 自治

○ 福祉

○ 防犯・防災

○ まちづくり



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

《校区の活動》

- ・子育てサロン
 - ・ふれあいサロン
 - ・おはなし会
 - ・わかば保育園と高齢者の交流
 - ・私部保育園の餅つき手伝い
 - ・私部保育園と高齢者の交流
 - ・ふれあい映画会
 - ・交小フェスタ
 - ・伝承あそび
 - ・昔の話
 - ・6年生と清掃奉仕
 - ・花いっぱい運動
 - ・お米づくり
- (田植えから稲刈りまで)

《地区独自の活動》

私部

- ・元気アップ体操

行殿

- ・元気アップ体操

青山

- ・童謡を歌う会
- ・ゴルフ同好会
- ・ネットワーク青山
- ・バス旅行

向井田

- ・防災訓練
- ・元気アップ体操



▲子育てサロン



▲田植え



▲花いっぱい運動

私たちの地域

地域のよいところ

- 文化、伝統が守られており、地域活動も活発である。
(住吉神社、秋祭り、大とんど、十日戎、きさいべ祭りほか)
- 市役所、駅、スーパーがあり、生活が便利。
- 隣組や班体制などの自治組織があり、地域住民のつながりが強い。
- 多様な経験をもつ人材の宝庫である。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域特性	■地元の人が多く、後期高齢化率が高い。
利便性	□広域であるため、利便性の高い地域と支援が必要な地域がある。 ■交通の便が悪い。(青山)
地域のつながり	■新しい地域と旧地区のとの交わりが少ない。 ■隣組に入っていない世帯が3分の1位ある。
安全・安心	■駅までの道は、車、自転車が多く、歩行者にとっては危険。バリアフリーにもなっていない。 ■不審者がいる。
地域活動	■私部区は広域であるため、拠点(集合場所)の確保が難しい。(私部) ■集会所がない。(私部西) ■地域活動に関心のない若い人がいる。 ■高齢化しており、次世代が出ていくと一代で終わることが多い。(青山) ■地域の活動についてPR不足。 ■問題を他人に言いたくない人がいる。 ■見守りでどこまで踏み込んだらいいのかが、難しい。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票より

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《交野小学校区の目標》

住民と子ども達がともに地域活動に取り組む機会を充実し、交流を深め、地域のつながりをつくります。

《私たちのこれからの取り組み》

◎住民と子ども達が協働して地域活動に取り組みます

- ・米作り（田植えから稲刈りまでおこないます）
- ・地域の清掃活動（校区内を巡回しながら、ゴミ拾いをします）
- ・花いっぱい運動（小学校で花を育て、明るい学校にします）
- ・あいさつ運動（あいさつをとおして、顔の見える関係をつくります）
- ・保育園や老人会と連携し、交流の機会を設けます。

◎サロンを充実します

- ・PR活動を活発にします。
- ・子育てサロンの休日開催等により、家族で参加できるよう工夫します。
- ・ふれあいサロン、食事会、映画会等楽しく集える場の充実をはかります。

◎啓発活動を充実し、多様な人材が地域活動に参画できるよう発信します。

- ・元教育者など人材の掘り起しをおこない、地域活動を活性化します。
- ・新興住宅地などの住民へ情報を発信し、新たな担い手を発掘します。
- ・地域の人材の強みを活かし、イベントや研修会の企画をすすめます。

4. 私市小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の南東部に位置し、自然に恵まれ、また、神社・寺院・文化財等が多くある歴史のある地域です。地域は、大きくは旧地域である私市地区と新興住宅地である私市山手地区に分かれており、独自の活動を展開しています。

地域住民の状況

◎人口 6,993 人（全市の 9.0%）
◎世帯数 2,737 世帯（全市の 8.7%）
◎高齢化率 26.1%（全市平均 25.7%）

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

◎出生率（人口千対比） 8.2（全市 7.5）
◎小学校児童数 371 人
◎要介護（要支援）認定者数 257 人
◎障がい者手帳所持者 204 人
（身体障害者手帳は 1・2 級のみ）

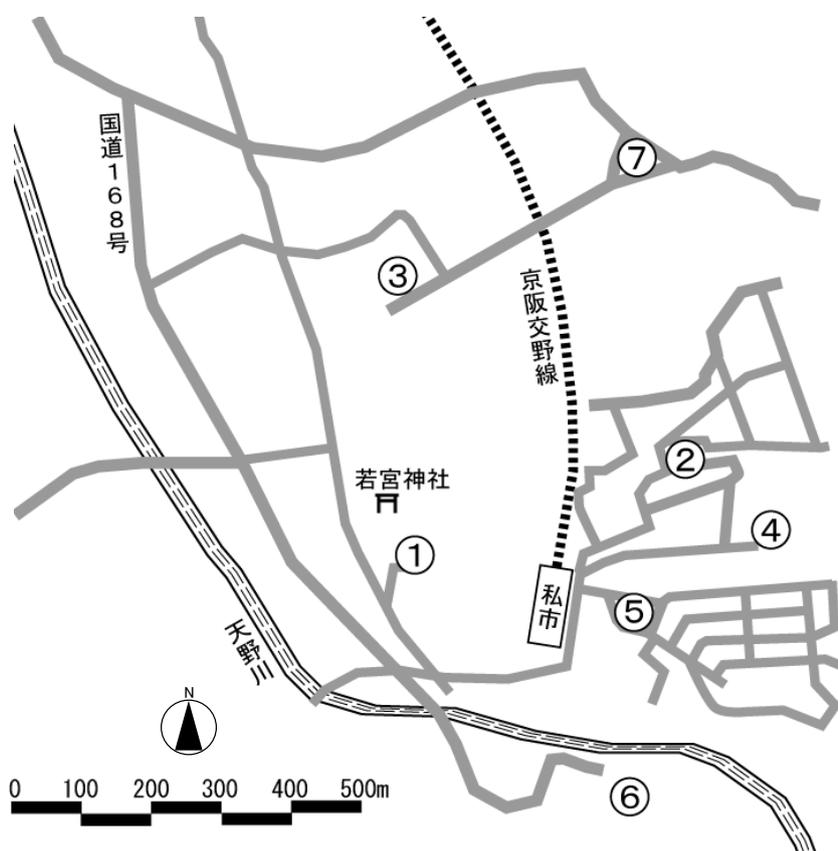
地域の資源

《拠点等》

- ①私市会館
- ②私市山手自治会館
- ③井手の内会館
- ④私市山手 A 集会所
- ⑤青葉台自治会館
- ⑥私市小学校
- ⑦あまだのみや幼稚園

《人的資源》

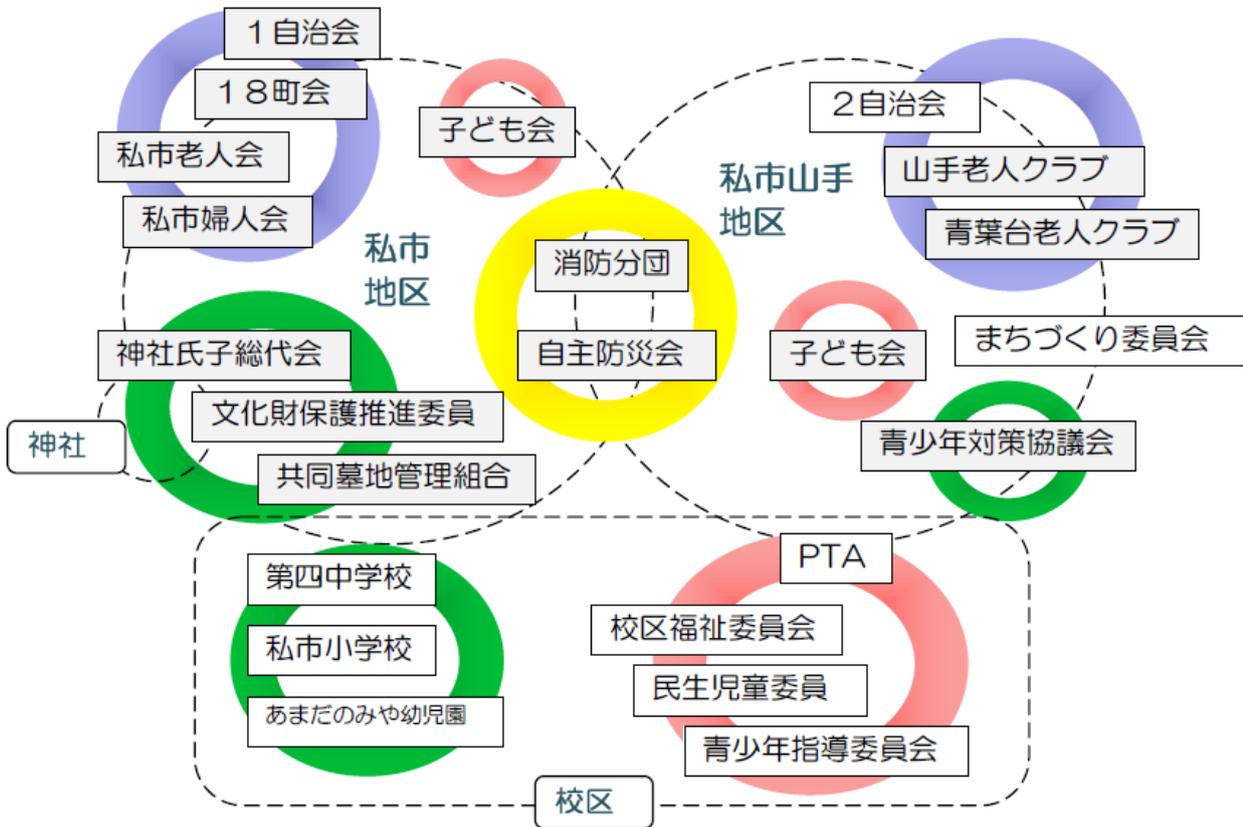
- ・町会：18
- ・自治会数：3
- ・校区福祉委員：56 人
- ・民生委員児童委員：8 人
- ・主任児童委員：1 人
- ・老人クラブ会員数 173 人
- ・子ども会会員数：375 人



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織

自治 福祉 防犯防災 まちづくり



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

	名称	開催場所	日時	実施主体
校区	子育てサロン	井手の内会館	月 1 回（第 1 金）	校区福祉委員会
	男のきさいちサロン	井手の内会館	月 1 回（第 2 金）	校区福祉委員会
	いきいきサロン	私市会館	月 1 回（第 3 金）	校区福祉委員会
	まごころサロン	私市山手自治会館	月 1 回（第 4 火）	校区福祉委員会



▲いきいきサロン
（小学生との交流）



▲子育てサロン



▲あいさつ・声かけ運動

私たちの地域

地域のよいところ

- 自然が豊か。伝統的な景観を残すまちなみがある。伝統行事が多い。
- 若い世代の住民が増えてきており、子どもも増えてきている。子育てサロンも活発化している。
- 小学校・中学校の連携が他地域に比べて進んでいる。
- ハイキングコース、キャンプ場があり、市外からの人の流れがある。
- 地域行事、サロン、地域活動が活発に行われている。
溝掃除や山へのご来向、小学校での昔遊び等、地域全体で参加できる行事がある。
- 私市山手区では、年1回程、地域活動の組織が集まり、顔の見える関係づくりをしている、

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ■私市地区と私市山手地区に分かれ、それぞれ組織がある。(町会・自治会・老人会・婦人会等) ■山手地区では高齢化が進んでいるが地域の拠点となる福祉施設が少ない。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ■新旧住民で問題意識にズレがみられ、町会・自治会への加入も差がある。 ■旧村地域は敷地が広く、近隣でも家の様子がわかりにくい。 ■ひとり暮らしになると、地域とふれあう機会が少なくなっている。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ■お店や医療機関が少ない。特に山手地区は、買物や通院が不便。 ■ゆうゆうバスのルート等、改善要望が出ている。 ■道の狭い所が多く、地域で高低差があり、坂道が行動を制約している。 ■随時に移動する手段があまりない。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ■遊び場、特にボール遊びができる広場がない。
地域支援 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■勤め人と自営業・農業とは、生活時間・生活様式が異なるため、一緒に取り組み(活動)をするのが難しい。 ■サラリーマンであった人は、これまで地域とのつながりがないため、定年後、地域の活動に入りにくい。 ■困りごとがあっても、相談までつながらないケースも多いと思われる。 ■山手地区は高齢化が顕著で、買物・病院等への交通手段が限定され、対策が必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■天野川遊歩道の休憩所や道を、安心安全に使える様な環境づくり。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《私市小学校区の目標》

世代をこえて、つながり 互いに支え合えるしくみづくり

《私たちのこれからの取り組み》

- ◎ちょっとした手伝いをする住民による「お手伝いクラブ」の充実
 - ・買物・通院支援のため、校区で車を確保して送迎できる様な方法を検討しよう。
 - ・外出が難しい方のために身近な場所に“地元の店”を育てられる様な雰囲気作りを考えよう。
 - ・お家の中の「ちょっとしたこと」のお手伝い活動。

- ◎子どもと高齢者の交流をしよう！
 - ・小学校での昔遊びなど、子どもと大人の世代を超えた交流をすすめよう。
 - ・地域の高齢者と小学生との座談会。

- ◎今ある住民が集える場を充実させよう
 - ・今まで続けてきた、住民が集えるサロンやクラブを工夫して、参加者1人ひとりが主人公となるプログラムを考えよう。
 - ・より幅の広い人が集まれる場づくりを考えよう。

- ◎お互いに顔がわかるような関係づくりのために、私市校区全体で、年に1回、各団体の交流をしよう。
 - ・各団体各組織と意見交換会の開催

5. 倉治小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の北部に位置し、倉治、東倉治、神宮寺、浜の池で構成され、かつての農村地帯に住宅開発がすすみ、歴史ある古い町並みと新興住宅が混在している。「これからもず〜と倉治で暮らしたいまちづくり」を基本に、町委員・福祉委員・さんゆう会・自主防災会など、それぞれ団体が協力し合いながら、福祉活動を展開している。

地域住民の状況

◎人口	9,883人（全市の12.7%）	◎出生率（人口千対比）	8.5（全市7.5）
◎世帯数	3,866世帯（全市の12.3%）	◎小学校児童数	644人
◎高齢化率	23.6%（全市平均25.7%）	◎要介護（要支援）認定者数	365人
		◎障がい者手帳所持者	323人

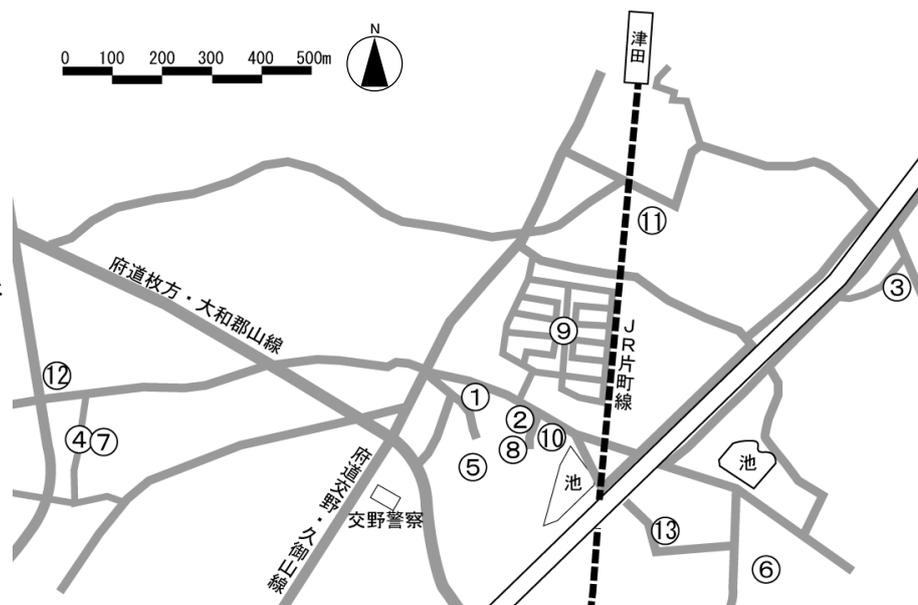
（平成27年4月1日現在）

（身体障害者手帳は1・2級のみ）

地域の資源

《拠点等》

- ① 倉治公民館
- ② いこいの郷
- ③ 山手集会所
- ④ 東幾野ふれあい館
- ⑤ 倉治小学校
- ⑥ 倉治公園・倉治グラウンド
- ⑦ カンガルー公園
- ⑧ 倉治児童公園
- ⑨ 東田中央公園
- ⑩ 倉治保育園
- ⑪ ひかりの子幼稚園
- ⑫ 特別養護老人ホーム美来
- ⑬ くらじワークセンター



《人的資源》

- ・自治会：17
- ・民生委員児童委員：12人
- ・校区福祉委員：77人
- ・老人クラブ会員数：250人

私たちの取り組み（現況編）

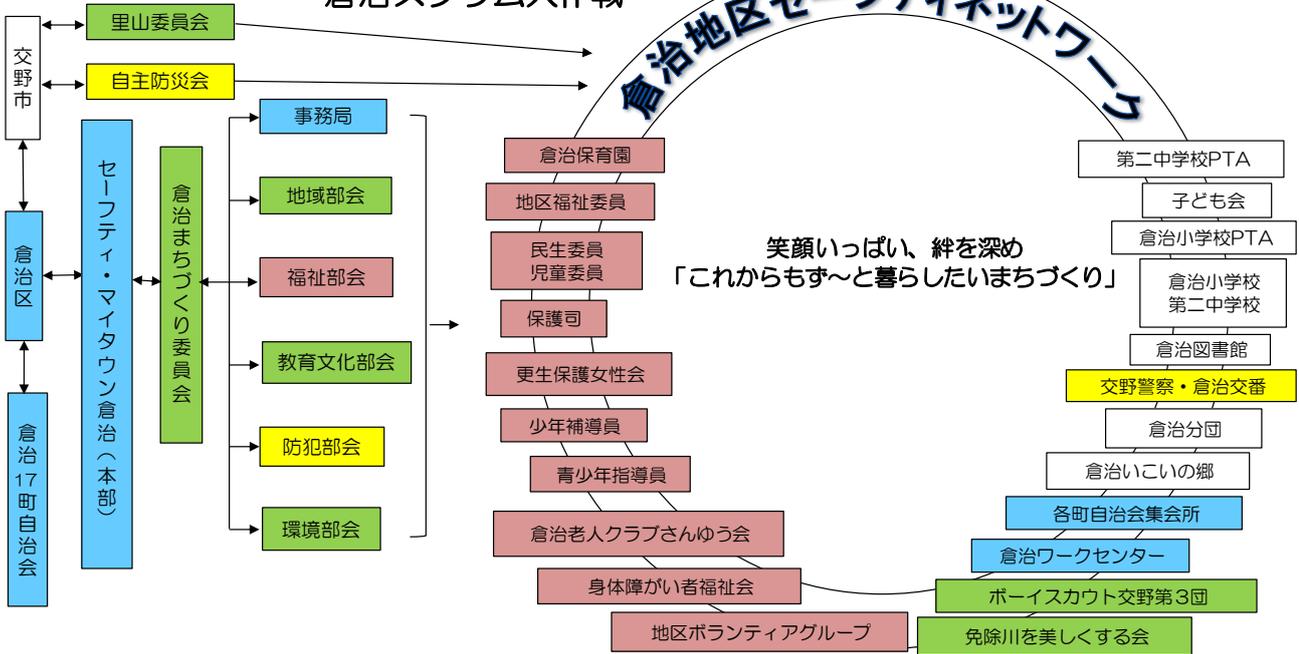
地域の組織

地域の和（輪）

自治 福祉 防犯防災 まちづくり

～助け上手と助けられ上手の地域社会の実現を目指して～

倉治スクラム大作戦



現在の地域の取り組み

平成27年4月1日現在

名称	開催場所	日時	実施主体
いきいきサロン	いこいの郷、山手集会所、東幾野ふれあい館	各月1回	校区福祉委員会
子育てサロン	倉治公民館	月1回	校区福祉委員会
男の喫茶室	いこいの郷	月1回	校区福祉委員会
おもちゃづくり教室	いこいの郷	月1回	校区福祉委員会
歌声喫茶	いこいの郷	月1回	校区福祉委員会
郷土史かるた会	倉治公民館	年1回	校区福祉委員会
クリスマス会	倉治公民館	年1回	校区福祉委員会
演芸大会	倉治公民館	年2回	さんゆう会
グラウンドゴルフ	いきいきランド、倉治グラウンド	週4回	さんゆう会
カラオケ同好会	いこいの郷	月2回	さんゆう会
囲碁同好会	いこいの郷	毎週金曜日	さんゆう会
健康麻雀教室	いこいの郷	毎週木曜日	さんゆう会
青パト見守り	倉小児童通学路	月～金	区
BLS・AED実技講習会	倉治公民館	年1回	区
防災訓練検討委員会	倉治公民館	年数回	区
防災訓練	倉治公民館・倉治小学校	年1回	区
あいさつ・声かけ運動	倉治小学校正門他6カ所	毎月第1月～金	校区福祉委員会

私たちの地域

地域のよいところ

- シルバー世代が元気に活躍している。また、老人会も活発で全国的にも注目されている。
- 区を中心に様々な団体がまとまっている。
- 人との団結力が強く、人とのつながりを大事にされている。
- 自然が多く、空気がきれい。
- 防犯意識が高い。
- 区の組織がしっかりとしている。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域環境	<ul style="list-style-type: none">■第2京阪道路の騒音。■交通機関が不便。■子どもが安心して遊べる場（公園・遊び場）が少ない。■買物が不便な地域がある。■旧町内の道路が狭い。
住民・住民意識・住民マナー	<ul style="list-style-type: none">■一人暮らし高齢者の増加。■飼い主のマナーが悪く、犬の糞が多い。■公園のごみ、国道側道のごみ。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none">■地域交流が少ない。■人との交流が希薄になっている。■知らない方が多くなってきた。■新しい住民がなじみにくい。
地域活動	<ul style="list-style-type: none">■自治会、町会に入っていない人が多い。■次世代のリーダーが少なく、また、地域活動の若い世代の参加が少ない。■市民活動できる場所がない。■自治会活動に全く加わらない地域が増えた。
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none">■街灯が少なく、夜道が暗い。■避難場所が遠い。□避難マップを作成するなど、防災意識は高いが、区・自治会未加入世帯に対する対応が課題。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票より

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

〈倉治小学校区の目標〉

笑顔いっぱい、絆を深め
「これからもず〜と倉治で暮らしたいまちづくり」

〈私たちのこれからの取り組み〉

ここ（倉治）一番、これ（目玉）一番、今一番

～助け上手と助けられ上手な地域社会の実現を目指す倉治スクラム大作戦の展開～

1. 地域見守り活動

- ①ごきげんさん挨拶運動の継続
- ②青色防犯パトロールカーに見守り活動の継続

2. 高齢者の仲間づくり、健康づくり、地域支えあい活動の充実

校区福祉委員会と老人クラブさんゆう会の連携

3. 世代間交流の充実

郷土史カルタ会、おもちゃづくり教室、もちつき大会、ソーメン流し等

4. 環境美化活動の継続

地域ぐるみ清掃活動、エコキャップ運動

5. 災害時一人も見逃さない運動の展開

- ①土砂災害マップ&福祉マップづくり
- ②防災訓練（避難所運営訓練）の充実
- ③災害時における地域の社会福祉施設との連携

6-1. 郡津小学校区(郡津地区)

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の北西部に位置し、古来より交野の中心地として発展してきた。田畑が多く残り、緑豊かな環境の中に、旧村と新興住宅、戸建てとマンションが混在している。助け合いの精神が根付き、様々な地域活動が展開されている。また、スーパーもコンビニもない稀有な地域である。

地域住民の状況

◎人口 6,735 人 (全市の 8.6%)
◎世帯数 2,603 世帯 (全市の 8.3%)
◎高齢化率 19.4% (全市平均 25.7%)

◎出生率 (人口千対比) 8.3 (全市 7.5)
◎小学校児童数 403 人
◎要介護 (要支援) 認定者数 220 人
◎障がい者手帳所持者 144 人
(身体障害者手帳は 1・2 級のみ)

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

地域の資源

《拠点等》

- ①郡津小学校
- ②郡津公民館・グラウンド
- ③郡津神社・ちびっこ広場
- ④老人センター
- ⑤郡津 2 丁目ちびっこ広場
- ⑥児童公園
- ⑦交野幼稚園
- ⑧第二きんもくせい保育園
- ⑨交野女子学院

《人的資源》

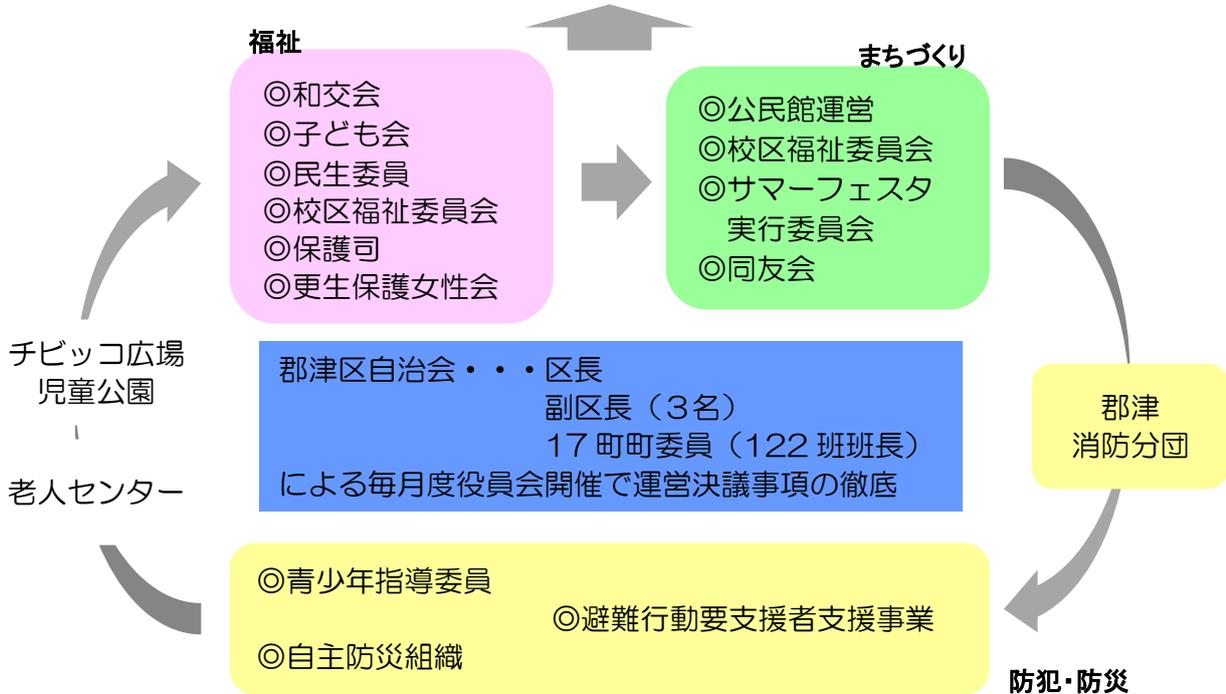
- ・自治会数：1
- ・校区福祉委員：34 人
- ・民生委員児童委員：7 人
- ・老人クラブ：会員数 57 人



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織

支え合いで安心・安全な住みよい「郡津のまちづくり」



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

名称	開催場所	日時	実施主体
元気アップ	郡津公民館	週 1 回（火）	校区福祉委員会
子育てサロン	郡津公民館	月 1 回（第 3 木）	校区福祉委員会
ふれあいサロン	郡津公民館	月 1 回（第 1 木）	校区福祉委員会
男の料理教室	郡津公民館	月 1 回（第 4 土）	同友会
サマーフェスタ	郡津区グランド	8 月に 2 日間	区
青少年パトロール	郡津区全域	夏季・冬季休暇中	区
歳末パトロール	郡津区全域	年末 3 日間	区
避難行動要支援者支援事業	郡津区公民館	通年	区



▲サマーフェスタ



▲ふれあいサロン



▲子育てサロン



▲あいさつ運動

私たちの地域

地域のよいところ

- 区の活動が区役員会で合意決定され実行が早い。
- 区と校区福祉委員会活動は連携が図れている。
- 校区福祉活動を支える民生委員児童委員・更生保護女性会・ボランティアメンバーの目的意識が高い。
- 校区福祉委員会主催の各種活動には特に高齢者の参加が多い。
- 除夜の鐘つきや郡津神社秋祭り子どもみこし等、古き良き伝統文化が残っている。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
見守り活動	<ul style="list-style-type: none"> ■見守りが必要な人がどこにいるかわからない。 ■見かけなくて気になるけれど、次の行動がとりにくい。 ■不審者と怪しまれるので、子どもへの声かけ・挨拶が難しい。 ■社協の一人暮らし高齢者調査と支援者事業の連動見直しが必要。
防犯活動	<ul style="list-style-type: none"> ■街灯が暗い、街灯がない。(きんもくせい保育園周辺、郡津神社周辺) ■ひったくり、押し売りなどの被害があった。 ■小学生には名前を覚えられ犯罪につながるので名札を廃止した。 ■一人暮らしでは一人だけの表札を出しにくい。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの遊び場がない。ボール遊びができるところがない。 ■子育てサロンの運営を知らない人が多い。来る人も決まっている。 ■育児に悩んでいる家庭がわからない。 ■交流の場に来ない人たちへのアプローチが必要。
交通事情	<ul style="list-style-type: none"> ■道が狭く、消防車が通れない道が多い。 ■小学校前道路の痛みが激しい。登下校時通過する車のスピードが速い。 ■自転車のマナーが悪い。ルール改正の周知が必要。 ■スーパーツジトミから郡津駅に至るメイン道路は道幅が狭く下り坂であるが、交通量が多く、登校時の児童横断が非常に危険である。
情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> ■掲示板が少なく、情報伝達が難しい。 ■引っ越してきた人は、情報を知らない。 ■若い人は回覧版を見ないので、情報が伝わりにくい。 ■回覧板が回ってくるのが遅い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> □一部の地域は近所付き合いが希薄で困り事が見えない。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票

私たちのアクションプラン（平成28～32年度）

〈郡津小学校区（郡津地区）の目標〉

**郡津区民相互の支えあい（愛）活動で
子どもからお年寄りまで
安心・安全な住みよい町づくり！**

〈私たちのこれからの取り組み〉

◎安心して子育てができる支援体制づくり

子育てサロン活動を中心に、子育て中の若いママさんと経験豊富なサロンスタッフとの交流の中から『悩みがあったらいつでも相談できる』信頼関係づくり活動を行う。

◎郡津小学校児童の安心・安全な通学環境づくり

美しく古い町並みが残る反面、道幅が狭く交通量が多い通学路には危険が多い。関係支援組織とボランティアで『地域で子供を見守る』環境づくり活動を行う。

◎青少年の健全育成に向けた支援活動

公民館横グラウンドを小学生がのびのび遊べるスペースに開放する活動や、定期夜間パトロールを行い『次代を担う青少年の健全育成』環境づくり活動を行う。

◎健康寿命を伸ばす支援体制づくり

元気アップ体操やふれあいサロン活動の継続と内容の充実で、生き活きと毎日が暮らせる気力・体力づくりへの支援活動を行う。

◎孤立者を出さない声掛け支えあい活動

区活動に不参加の約600世帯への参加勧誘活動と、一声かけての回覧板手渡し活動等で『高齢1人暮らし者との交流』による見守り活動を行う

◎災害発生時の避難行動に支援が必要な人への支援体制強化

避難行動要支援者支援事業の支援体制充実を目指し、1～3年後には要支援者を支援者が支える体制から『要支援者を地域で支える』体制に移行検討中。

◎あいさつ運動の継続で潤いのある町づくり

定期的なあいさつ運動を行い『おはよう！が飛び交う町づくり』活動を行う。

6-2. 郡津小学校区(幾野地区)

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の北西に位置する静かな住宅街。幾野1・2丁目は、昭和40年頃に宅地開発され、子育て世代が家を建てる。その後、周りの田畑が宅地化され、戸建て住宅やマンションが建設された、比較的新しい地域である。6丁目だけが離れ、枚方市に隣接している。また、5丁目は工場地帯となっている。

地域住民の状況

◎人口 4,444人(全市の5.7%)
◎世帯数 1,744世帯(全市の5.6%)
◎高齢化率 23.4%(全市平均25.7%)

(平成27年4月1日現在)

◎出生率(人口千対比) 5.4(全市7.5)
◎小学校児童数 206人
◎要介護(要支援)認定者数 150人
◎障がい者手帳所持者 99人
(身体障害者手帳は1・2級のみ)

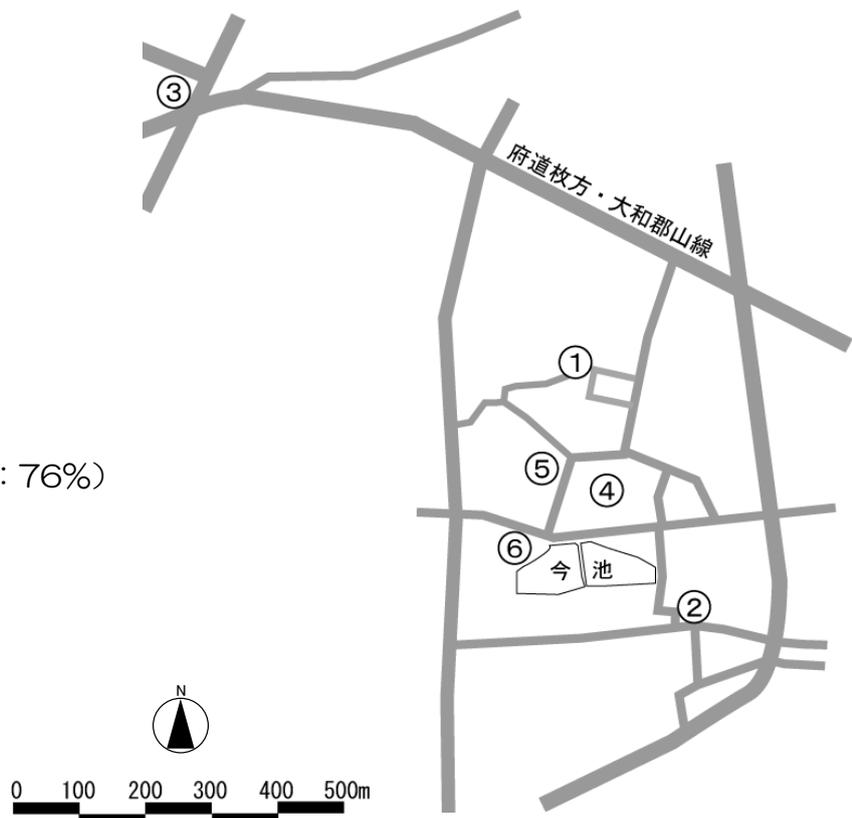
地域の資源

《拠点等》

- ①幾野会館
- ②幾野集会所
- ③幾野西集会所
- ④第二中学校
- ⑤くらやま幼稚園
- ⑥第一児童センター

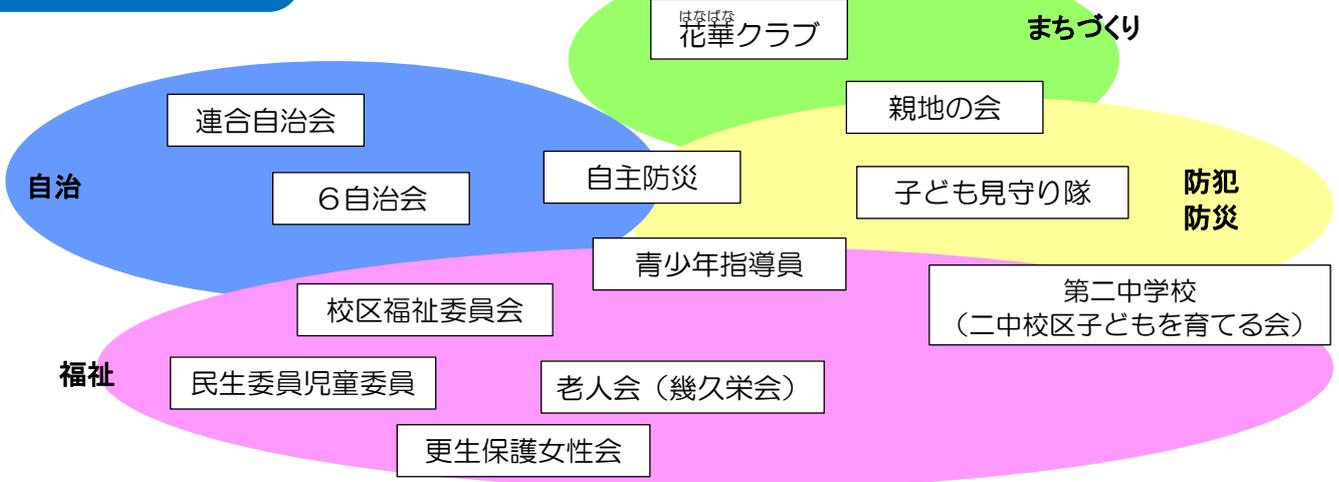
《人的資源》

- ・自治会数：6(自治会加入率：76%)
- ・校区福祉委員：25人
- ・民生委員児童委員：5人
- ・老人クラブ会員数：97人
- ・子ども会会員数：50人



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

名称	開催場所	日時	実施主体
幾野ふれあい広場	第二中学校	10月	連合自治会
防災訓練	第二中学校	11月	連合自治会
お楽しみサロン	幾野集会所	月1回（第4月曜）	校区福祉委員会
子育てサロン	幾野集会所	月1回（第4水曜）	校区福祉委員会
元気アップ体操	幾野集会所	月3回（第1・2・4火曜）	校区福祉委員会
校区三世代交流（グラウンドゴルフ大会）	郡津小学校	年1回	校区福祉委員会
校区世代間交流（ディスコン大会）	第二中学校	年1回	校区福祉委員会
懇談会（一人暮らし高齢者の交流会）	幾野集会所	年2回	校区福祉委員会
友愛訪問（一人暮らし高齢者宅訪問）		年3回	校区福祉委員会
声かけ・あいさつ		月2回（第1・3月曜）	友愛チーム幾野
子ども見守り隊	第2中～郡津小	週2回（月・金曜）	区・校区福祉委員会
幾野文化祭	幾野会館	11月	連合自治会



▼お楽しみサロン

▲子育てサロン



▼あいさつ運動

▲元気アップ体操



私たちの地域

地域のよいところ

- 環境が良い。治安が良い。
- 近所づきあいがしやすい。
- 校区福祉委員会、幾久栄会、親地の会など、それぞれが特色のある活動をしている。
- 親地の会（二中コーディネーター）の活動が素晴らしい。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ■6丁目が、活動拠点等から離れている。 ■福祉に無関心な人が多い。 ■タバコのポイ捨て、犬の糞など、住民マナーに問題がある。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> □24%の世帯が自治会に入っていない。 ■6丁目は離れているため、地域行事に参加しにくい。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ■5・6丁目は、ゆうゆうバスが通らない。
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ■一時避難所があまりない。 ■防災・緊急放送が聞こえない地域もある。 ■防犯カメラが少ないため、設置を希望する。 □高齢化が進んでいるため、災害時の組織体制づくりが急務。
子ども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの遊び場がない。（ボール遊び等ができない） ⇒道路で遊んでいて危険
地域支援 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■自治会の役員の任期が1年で、色々な活動の引継ぎがうまくいかない。 ■自治会未加入者が増えてきて、要援護者の把握が難しくなっている。 □自治会に加入していないマンションなどの個別ニーズの把握が難しい。 ■福祉ボランティアの協力者が少ない。 ■いろいろな活動に協力してくれる校区福祉委員は10人程度。民生委員児童委員が、参加だけでなく、中心となって事業を行わざるを得ない状況。 ■老人会の会員数に地域のかたよりがある。

■は地域懇談会であげられた課題 □社協・地域包括の視点からみた課題

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《郡津小学校区（幾野地区）の目標》

支えあう 安心・安全できれいなまちづくりの推進

《私たちのこれからの取り組み》

- ◎幾野独自のお助け組織の充実
- ◎危険個所の見直し
- ◎連合自治会との連携強化
- ◎工場地帯の人たちとの交流
- ◎世代間交流（みんなが楽しめるイベント）
- ◎声かけ・あいさつ運動の継続
- ◎美化運動の推進

6-3. 郡津小学校区(松塚地区)

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の北西部に位置し、テラスハウス・戸建住宅・マンション・府営団地があり、郡津駅周辺には商業施設、診療施設が複数ある。区長をトップに松塚地区連絡協議会が組織されており、平成14年頃に開始された松塚公園の美化活動、早朝ラジオ体操、早朝太極拳等、地域や市域を超えた集まりがあり、現在も活発に活動を続けている。

地域住民の状況

- ◎人口 1,586人(全市の2.0%)
- ◎世帯数 751世帯(全市の2.4%)
- ◎高齢化率 44.6%(全市平均25.7%)

(平成27年4月1日現在)

- ◎出生率(人口千対比) 3.2(全市7.5)
- ◎小学校児童数 45人
- ◎要介護(要支援)認定者数 130人
- ◎障がい者手帳所持者 59人

(身体障害者手帳は1・2級のみ)

地域の資源

《拠点等》

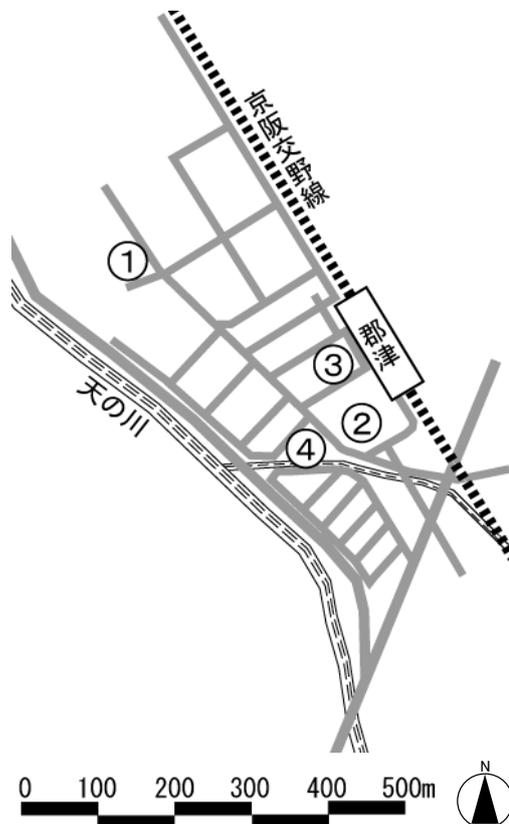
- ①松塚ふれあい館
- ②松塚公園
- ③交野会館
- ④交野保育園

《人的資源》

- ・自治会・町会数：9
- ・校区福祉委員：45人
- ・民生委員児童委員：3人
- ・老人クラブ会員数：143人

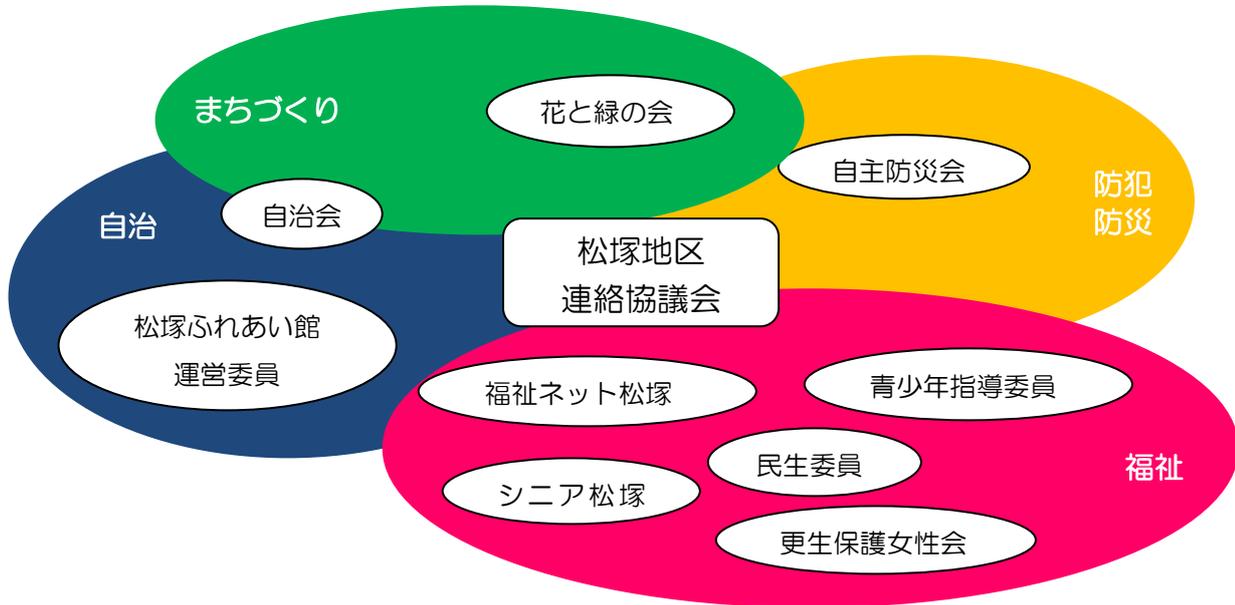


▲駅前花壇



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

名称	開催場所	日時	実施主体
喫茶松の実	ふれあい館	毎週月曜	福祉ネット松塚
ふれあいサロン	ふれあい館	毎月第3水曜	福祉ネット松塚
おしゃべり会	ふれあい館	毎月第3金曜	福祉ネット松塚
男の喫茶	ふれあい館	毎月第4水曜	福祉ネット松塚
ハイキング		毎月第4木曜	福祉ネット松塚
映画会	ふれあい館	毎月第1 or 第3日曜	福祉ネット松塚
元気アップ体操	ふれあい館	毎月第2・第4月曜	福祉ネット松塚
朗読会	ふれあい館	毎月第2金曜	福祉ネット松塚
子育てサロン	ふれあい館	毎月第4月曜	福祉ネット松塚
ひなまつり会	ふれあい館	年1回	福祉ネット松塚
クリスマス会	ふれあい館	年1回	福祉ネット松塚
個別支援		随時	福祉ネット松塚
自主防災会	ふれあい館	毎月第4日曜	区

私たちの地域

地域のよいところ

- 松塚地区連絡協議会があり、会議・会合がこまめに開かれている。
- 問題意識が広がり、情報提供がなされている。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域特性	□高齢化率が極めて高い。
近隣関係・地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ■近所とのコミュニケーション、つきあい方が難しくなってきた。 ■引きこもって、地域とのつながりが少ない高齢者がいる。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ■コンビニ、飲食店、喫茶店がない。 ■遠くまで行かないと買物するところがない。
地域環境・安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■空き家が増えてきて、今後、ますます増えると思う。 ■自転車が増えて危険。自転車のマナーの向上が必要。 ■ゆうゆうバスの回数が少なく、第1ブロックの方にも廻ってほしい。 (個人負担 100 円くらいでもよい) ■道路の段差が多くて、足の悪い人はよく転ぶ。 ■公園内の歩道が整備されておらず、雨が降ればまともに歩けない。 ■けやき道路の樫が危険。桜や樫の寿命がきている。 ■認知症の方の火の管理が心配。
自治組織	<ul style="list-style-type: none"> ■自治会活動に男性の参加が少ない。 ■連協だよりを読む人が少ない。 ■委員になる人が少なく、役がすぐに回ってきて大変。 ■地区委員の数が減ってきている。見守りも2ヶ月に1回のペースで回ってくる。
地域支援・地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て世帯への支援。 ■高齢者夫婦や一人暮らし高齢者への支援や見守りが必要。 ■若者を含めて引きこもりの人が把握できていない。 ■活動や地域を支援する人手がない。 □高齢化率が高く、地域の担い手として若い世代の育成が急務。 ■若い世代を地域活動に参加、参画させる必要がある。 ■出かけられない人のための仕組みづくりが必要。 ■民生委員の名前や役目を知らない人が多い。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票より

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《郡津小学校区（松塚地区）の目標》

日頃からの近所の見守り・支え愛を通して、様々な問題を早期に把握し、各専門機関と協力し解決します。

《私たちのこれからの取り組み》

- ◎喫茶松の実の継続
- ◎連絡協議会で各自治会からの問題の吸い上げ。
- ◎ボランティアに参加可能な若い世代のネットワークづくり。
- ◎一人暮らし高齢者の横のつながりをつくる。
- ◎障がい者やグループホームについての啓発、理解の推進。
- ◎男性が活躍できる場をつくる。
- ◎独居家族のカギ委託。
- ◎認知症の方への声掛け。
- ◎松塚公園前あたりに避難場所になるような設備をつくる。

7. 長宝寺小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の北部に位置し、駅前住宅、梅が枝、私部西、郡津の4つの地区で構成されている。私部西は比較的新しく開発された地区で人口が増加しており、子どもも多いが、梅が枝は高齢化率が顕著に高く、人口が減少しているなど、校区内でも地区によって違いがある。交通や買物の利便性は高い。

地域住民の状況

◎人口 5,422人（全市の7.0%）
◎世帯数 2,398世帯（全市の7.6%）
◎高齢化率 26.9%（全市平均25.7%）

◎出生率（人口千対比） 6.8（全市7.5）
◎小学校児童数 204人
◎要介護（要支援）認定者数 826人
◎障がい者手帳所持者 245人
（身体障害者手帳は1・2級のみ）

（平成27年4月1日現在）

地域の資源

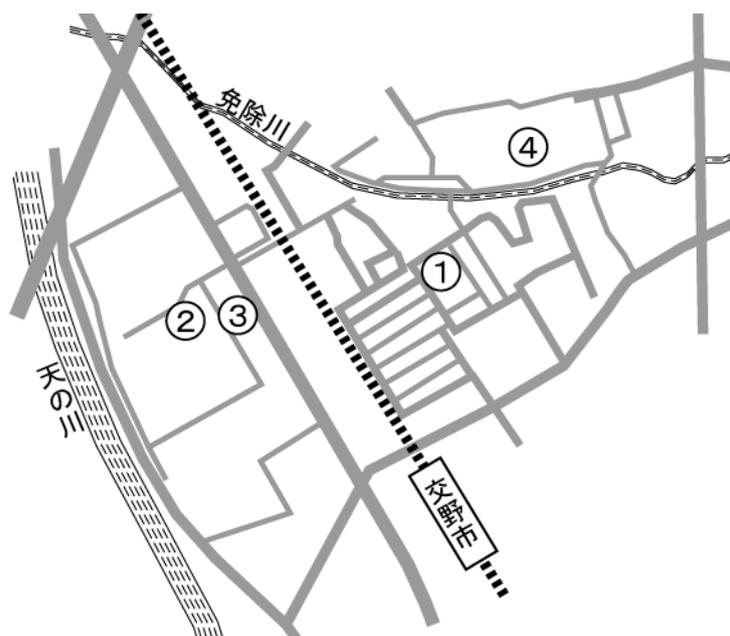
《拠点など》

- ①交野駅前住宅自治会集会所
- ②府営梅が枝住宅集会所
- ③府営梅が枝住宅第二集会所
- ④長宝寺小学校

《人的資源》

- ・自治会数：4
- ・校区福祉委員：50人*
- ・民生委員児童委員：10人*
- ・老人クラブ会員数：355人*
- ・子ども会会員数：436人*

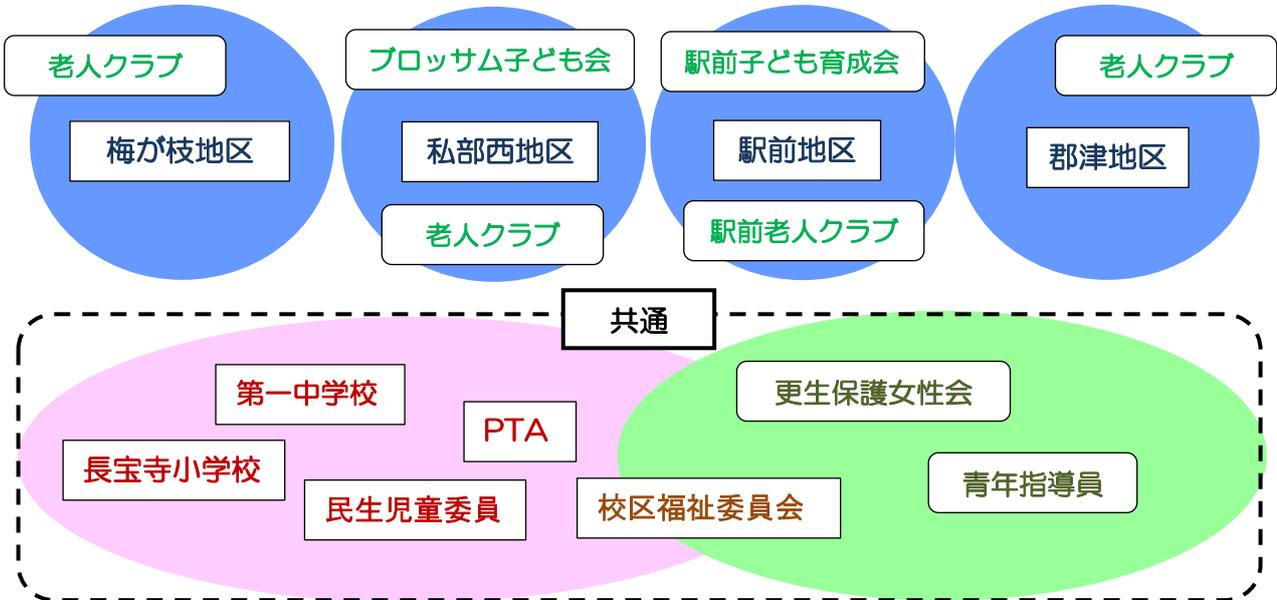
*は、他校区を含む



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織

● 自治 ● 福祉 ● まちづくり



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

名称	開催場所	実施主体
いきいきサロン	駅前住宅自治会集会所 梅が枝第 1 集会所	校区福祉委員会
子育てサロン	プロッサム集会所	校区福祉委員会
オセロ大会	駅前・梅が枝・東・西	校区福祉委員会
グランドゴルフ大会	長宝寺小学校	校区福祉委員会
かるた大会	駅前・梅が枝・東・西	校区福祉委員会
元気アップ教室	駅前・梅が枝・郡津公民館	自治会・みのり・郡津区



▲あいさつ運動



▲カルタ大会



▲世代間交流・グランドゴルフ

私たちの地域

地域のよいところ

- グランドゴルフや小学校で昔遊びを通じて交流するけやきの会など、世代間交流が活発に行われ、子どもたちと高齢者が交流する機会がある。
- 民生委員による住民活動が活発。
- 小学校の約半数の児童が参加し長年続いている、オセロ大会やカルタ大会等の行事がある。
- 駅前住宅自治会では、1人暮らしの高齢者宅への見守り活動をしている。
- 交通機関やスーパー、医療施設、介護事業所もあり、利便性が高い。
- 毎週、登校途中の横断歩道で続けている、あいさつ運動等で、子ども達が地域の大人の顔を覚えて、あいさつをしてくれるようになった。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
地域特性	<input type="checkbox"/> 公共施設が少ない。公共交通機関が近く、移動に便利。 <input type="checkbox"/> 高齢化率が高く、児童数の減少、少子高齢化が顕著となっている。
地域自治	<input type="checkbox"/> 自治会がない地域がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 自治会はあるが、回覧等ほとんどない地域もある。
地域のつながり	<input checked="" type="checkbox"/> 梅が枝は高齢者が多く、世代間交流が少ない。 <input type="checkbox"/> 府営住宅、一戸建て、マンション（分譲・賃貸）が混在し、それぞれでライフスタイルが異なるため、コミュニケーションや連携が難しい。
防犯・防災	<input type="checkbox"/> 駅が近いので、夜間に少年たちが集まりやすい。
子ども・子育て支援	<input type="checkbox"/> 子どもの遊び場として、公園や雨の日に遊べる場所がない。
地域支援 地域活動	<input type="checkbox"/> 少子高齢化が顕著で、地域福祉の担い手の育成が急務。 <input type="checkbox"/> 地域ボランティアが少なく、活動者も内容も固定化しやすい。 <input type="checkbox"/> 市内でも少子高齢化が特徴的な地域。できるだけ長く、元気に暮らしていくための取り組みが必要。 <input type="checkbox"/> 高齢者、障がい者、子どもをもつ親などが孤立しないよう、見守りや声かけ、何かあれば相談できる環境づくりを、地域・学校・福祉関係事業所等が協力して行う必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 様々な交流活動を実施しているが高齢者が外に出てこない。経済的な事情もあり活動に参加しない、やりたくない人に無理強いはできない。
情報伝達	<input type="checkbox"/> 自治会のない新興住宅地などへの地域情報や行事案内の伝達が難しい。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票より

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《長宝寺校区の目標》

世代をこえた健康で明るい街づくり

《私たちのこれからの取り組み》

◎続けていくこと

学校やPTA、校区内で活動する住民など、いろいろな方が参加し子どもたちを見守るあいさつ運動や、たくさん子ども達や住民が楽しみにしている、恒例のオセロ大会、かるた大会、グラウンドゴルフ、けやきの木交流会等を継続する。

◎新たにプラスすること

サロン等住民が集える場を、もっと活用してもらえるように、PRを工夫する。
地域で行う活動への参加を住民に呼び掛ける。

◎大事にすること

子ども達から子育て中の方、お仕事を退職された高齢の方まで、それぞれの暮らしを大切にしながら、気軽に楽しく活動に参加できる街づくりを目指す。

8. 藤が尾小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の中央部に位置し、近年では、宅地開発がすすみ、新しい戸建も増加傾向にある。自治会よりも組織、地縁、意識ともに「テラス」「公社」「団地」の属性が中心で、福祉関係施設が多いのが特徴であり、日頃から連携を図っている。

地域住民の状況

- ◎人口 5,495人（全市の7.1%）
- ◎世帯数 2,223世帯（全市の7.1%）
- ◎高齢化率 25.6%（全市平均25.7%）

（平成27年4月1日現在）

- ◎出生率（人口千対比） 9.3（全市7.5）
- ◎小学校児童数 403人
- ◎要介護（要支援）認定者数 299人
- ◎障がい者手帳所持者 210人
（身体障害者手帳は1・2級のみ）

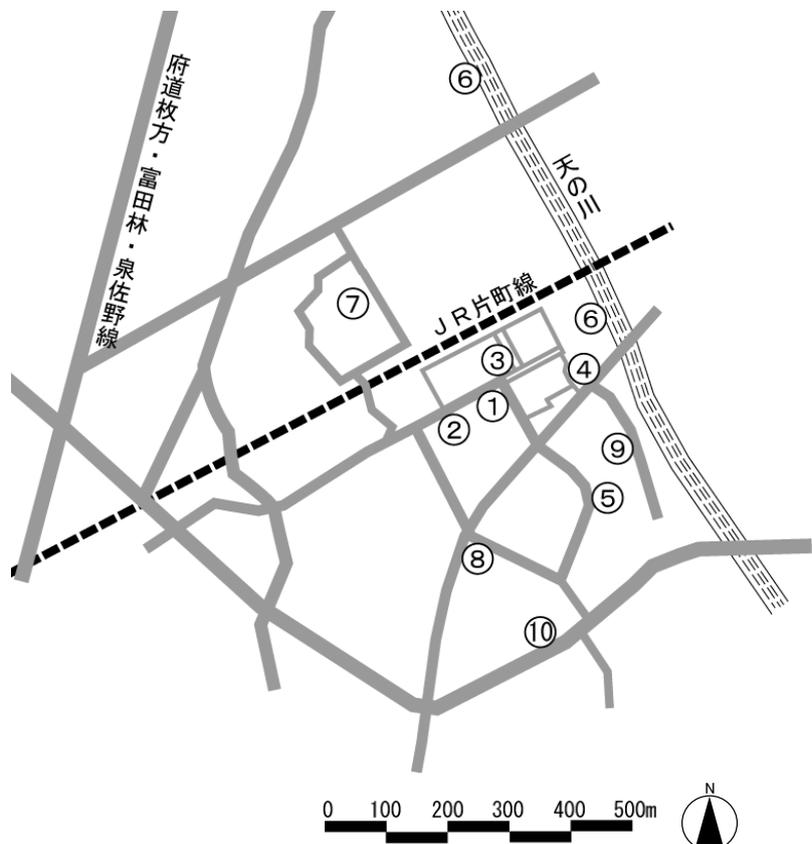
地域の資源

《拠点等》

- ①藤が尾会館
- ②藤が尾ふれあい会館
- ③府営団地集会所
- ④府営団地第二集会所
- ⑤公社集会所
- ⑥天野川緑地
- ⑦藤が尾小学校
- ⑧ふじが丘保育園
- ⑨特別養護老人ホーム天の川明星
- ⑩地域活動支援センターみのり

《人的資源》

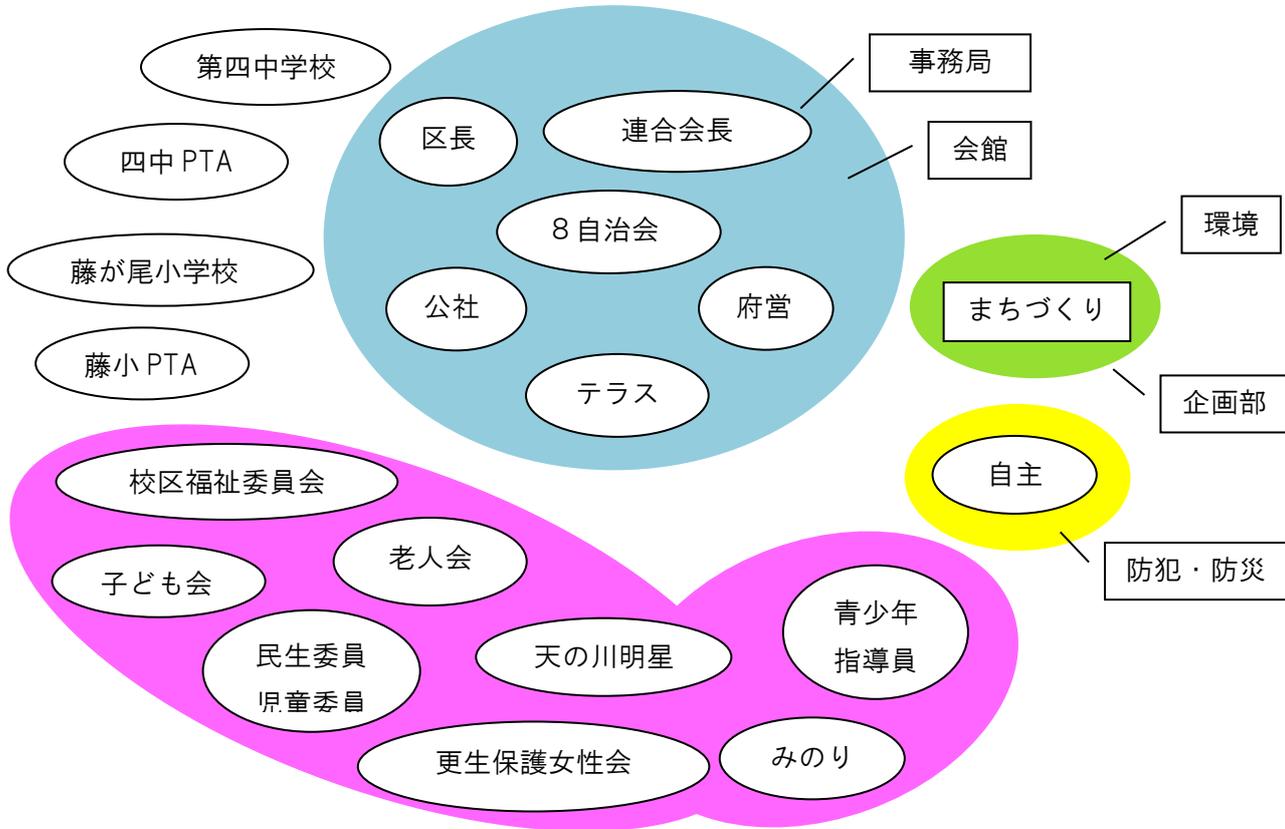
- ・自治会数：8
- ・校区福祉委員：43人
- ・民生委員児童委員：8人
- ・老人クラブ会員数 42人



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織

自治 福祉 防犯防災 まちづくり



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

名称	開催場所	日時	実施主体
ふれあいサロン	藤が尾会館	第1金曜日 10時～	校区福祉委員会
子育てサロン	ふれあい館	第1火曜日	校区福祉委員会
ピンポンサロン	藤が尾会館	第1・3木曜日	校区福祉委員会
喫茶「陽だまり」	藤が尾会館	第3木曜日	校区福祉委員会
一人暮らし高齢者懇談会	藤が尾会館	年1～2回	校区福祉委員会
カラオケ	府営第2集会所		あけぼの会
サマーキャンプファイヤー	藤が尾小学校	8月	連合自治会
盆踊り	公園	8月	連合自治会
もちつき大会	ふれあい館	12月	校区福祉委員会
防災訓練	藤が尾小学校	2年に1回	連合自治会
カラオケ同好会	藤が尾会館	毎週月・火	連合自治会
元気アップ体操	公社集会所	水曜日	公社
グラウンドゴルフ	公園	月・水・木	あけぼの会
ゲートボール	公園	火曜日	あけぼの会

私たちの地域

地域のよいところ

○利便性

スーパー、学校、医療、銀行も近く、坂も少ないので高齢になっても住みやすい。

○地域のつながり・自治組織

近隣は顔見知り。交流が多い。

○地域活動

住民活動が団結している。

みのりのボランティア活動は、障がいのある方と地域の交流機会になっている。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ■府営住宅にエレベーターがないところが多く、階の人の負担が大きい。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ■医療機関等の情報が入りづらく、利便性が悪い。 ■救急の場合に枚方市まで運ばれることもある。これでは交野市で子育てしたいと思わないのではないか。若い子育て世帯は不満を持っている。 ■通院が大変。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ■住民が顔を合わせることが少なくなった。 ■引っ越しされてきても挨拶をしない。 ■住民の関わりがない。
自治組織	<ul style="list-style-type: none"> ■自治会総会への出席者が少ない。 ■自治会を辞める人が増えている。
地域支援 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■孤独死、孤立死。 ■退職後の活動の場が少なく ■世帯で障害を持たれている方への支援。 ■ゴミ屋敷への支援。 ■公の制度の対象にならない方への支援。 ■SOSを自ら言ってくれない。 ■見守り、安否確認等の支援が必要。 ■集まりに参加できない方へのアプローチ方法。 ■独居の人は、他人に対する依存が強い。声をかけるが頼られすぎても困る。本人の自立と住民支援のジレンマ。

■は地域懇談会であげられた課題 □社協・地域包括の視点からみた課題

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《藤が尾小学校区の目標》

地域のつながりを深め、障がい者や高齢者、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを目指します。

《私たちのこれからの取り組み》

◎地域のつながりづくり

見守り、声かけ活動を継続し、住民同士が気さくに挨拶ができるまちづくりを目指します。

また、地域活動（清掃活動やお祭り、イベント）などをおして、近所づきあいを深めます。

◎他団体・施設等との連携

・小学校との連携

小学校が地域活動の中心になるよう連携を深めます。

また、児童会によるひとり暮らし高齢者訪問などを検討します。

・福祉施設との連携

地域活動をおして、福祉施設との連携を図り、施設に入所・通所している高齢者や障がい者との交流を深めます。

◎人材の発掘

若い世代の人材を発掘し、地域活動の活性化を目指します。

また、多様な人が気軽に地域活動に参加できるよう、機会を充実します。

9. 星田小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の南西端に位置し、星田駅前にはスーパー・銀行・福祉施設等、生活関連施設が充実している。また、星田区には星田・旭・妙見坂・藤が尾小学校区の4つのエリアが混在している。

地域住民の状況

◎人口 6,266人（全市の8.0%）
◎世帯数 2,593世帯（全市の8.3%）
◎高齢化率 24.1%（全市平均25.7%）

◎出生率（人口千対比） 10.4（全市7.5）
◎小学校児童数 405人
◎要介護（要支援）認定者数 365人
◎障がい者手帳所持者 190人
（身体障害者手帳は1・2級のみ）

（平成27年4月1日現在）

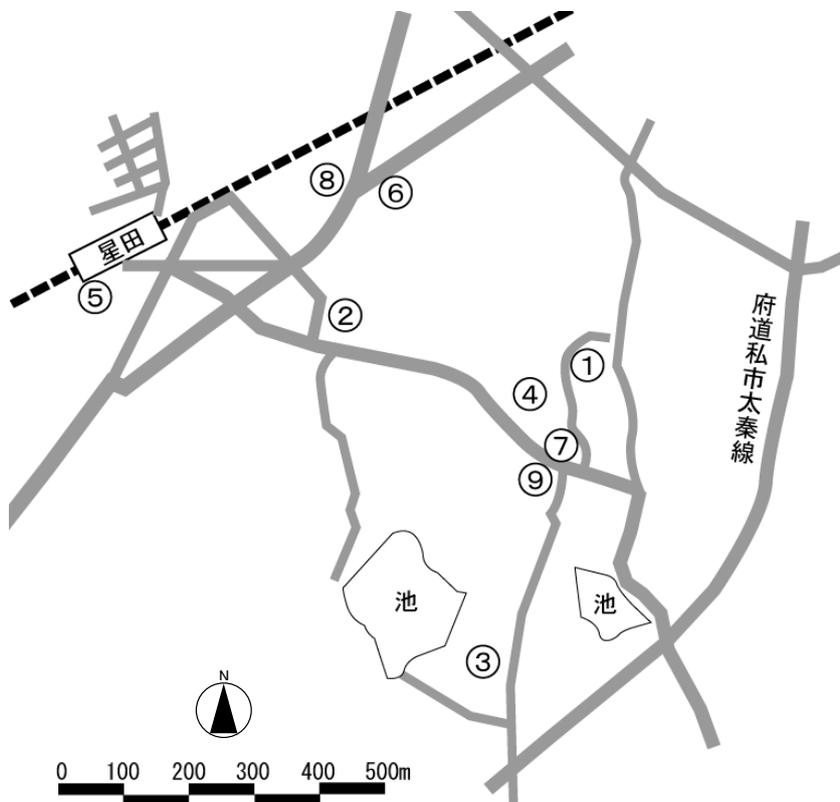
地域の資源

《拠点等》

- ①星田会館
- ②星田小学校
- ③第三中学校
- ④星田公園
- ⑤星田駅前ちびっこ広場
- ⑥星田出張所
- ⑦星田保育園
- ⑧あさひ幼稚園
- ⑨特別養護老人ホーム明星
軽費老人ホーム明星

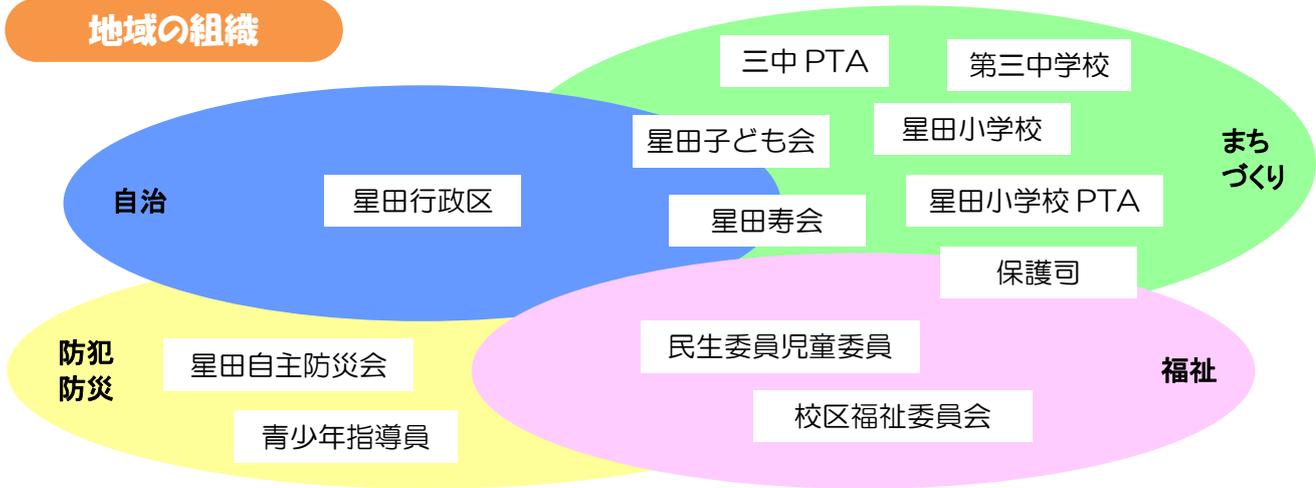
《人的資源》

- ・自治会・町会数：187
- ・校区福祉委員：80人
- ・民生委員児童委員：12人
- ・老人クラブ：会員数98人



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織



現在の地域の取り組み

平成 27 年 4 月 1 日現在

名称	開催場所	日時	実施主体
ふれあいサロン	星田会館	月 1 回（第 4 土）	校区
子育てサロン	星田保育園	月 1 回（第 2 木）	校区
喫茶サロン	星田会館	月 1 回（第 2 土）	校区・寿会
囲碁サロン	星田会館	月 4 回 （第 1・3 土、第 2・4 水）	校区・寿会
星の児サロン	星田会館	月 1 回（第 3 土）	校区
人形劇（もんぺ座公演）	星田会館	年 1 回	校区
サマーフェスティバル	星田公園	年 1 回	行政区
三中校区ふれあいフェスティバル	第三中学校	年 1 回	三 中 校 区 PTA
昔あそび	星田小学校	年 1 回	学校



▲ふれあいサロン

▼喫茶サロン



▲子育てサロン

▼囲碁サロン



私たちの地域

地域のよいところ

- 校区福祉委員会の活動が活発。
- 星田小学校の見守りボランティア「織り姫ひこぼし隊」が毎日、登下校を見守っている。
- 医療関係機関や福祉関係機関が多く、他地域に比べて社会資源が充実している。

地域の福祉課題

分野	困りごと・課題
自治組織	<ul style="list-style-type: none"> ■町会・自治会への加入率が低い。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ■旧村と新しい住民との隔たりがある。 □新興住宅街に転居した方の中に、地域に溶け込めずにいる人がいる。 ■まとまりのある地域とない地域がある。 ■ひとり暮らし高齢者は、近所とのつながりが希薄になり引きこもりがちになる可能性があるため心配。 ■小学校 PTA と地域とのつながりがない。大人と子どもが一体となっていない。
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ■駅前の住民は、坂があって星田会館まで歩くことが難しい。 ■星田出張所にエレベーターがないため、利用できない人がいる。 ■医療機関は多いが診療科に偏りがある。(眼科、耳鼻科がない) ■交通の便が悪く、明星で行っている元気アップ体操に参加できない人がいる。
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ■道が狭く、消防車が入れない。 ■空き家が多くなってきている。 ■福祉避難所の表示が不十分なところがある。
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■個人情報重視で、いろいろな情報が入ってこない。 ■引きこもりの方への対処が難しい。 ■「元気やから、助けはいらん」と支援を拒否する人がいる。 ■あいさつ運動の腕章があれば声かけをしやすいが、そうでなければ声かけをしにくいし、返事も返ってこない。 □校区エリア（星田・旭・妙見坂）、区エリア（星田区・妙見坂区・南星台区・藤が尾区）が混在しており、区長や校区福祉委員は重複している。 □閉じこもりになっている可能性がある高齢者が他校区と比べて最も多い。(集える場所が少ない)

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票より

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《星田小学校区の目標》

地域見守りネットワークの確立を目指します

《私たちのこれからの取り組み》

- ◎施設や学校と協力し、見守り・あいさつ声かけの継続をする。
- ◎ひきこもりがちな人に役割を持ってもらい、生きがいにつなげる。
- ◎農業や自営業の方でも参加しやすい、活動を検討する。
- ◎防災を核に、地域のつながりを強くする。
- ◎元気アップ体操など新たな拠点での活動を検討する。



▲サマーフェスティバル

▼あいさつ運動



▲人形劇

▼星の児サロン



10. 妙見坂小学校区

私たちの地域の基礎データ

地域の特徴

市の南部に位置し、川や緑に恵まれた自然環境が整っている地域である。山手にあり一戸建てが多く、また一戸の土地が広く隣家との間隔があることも特徴である。社宅や同じ企業の出身者も多く、退職後も地域でつながりがあることから、住民の組織力・自治力は高く、自主的に活動を立ち上げ運営し、地域活動を展開している。

地域住民の状況

- ◎人口 6,578人（全市の8.4%）
- ◎世帯数 2,526世帯（全市の8.0%）
- ◎高齢化率 29.9%（全市平均25.7%）

（平成27年4月1日現在）

- ◎出生率（人口千対比） 7.0（全市7.5）
- ◎小学校児童数 364人
- ◎要介護（要支援）認定者数 556人
- ◎障がい者手帳所持者 157人
（身体障害者手帳は1・2級のみ）

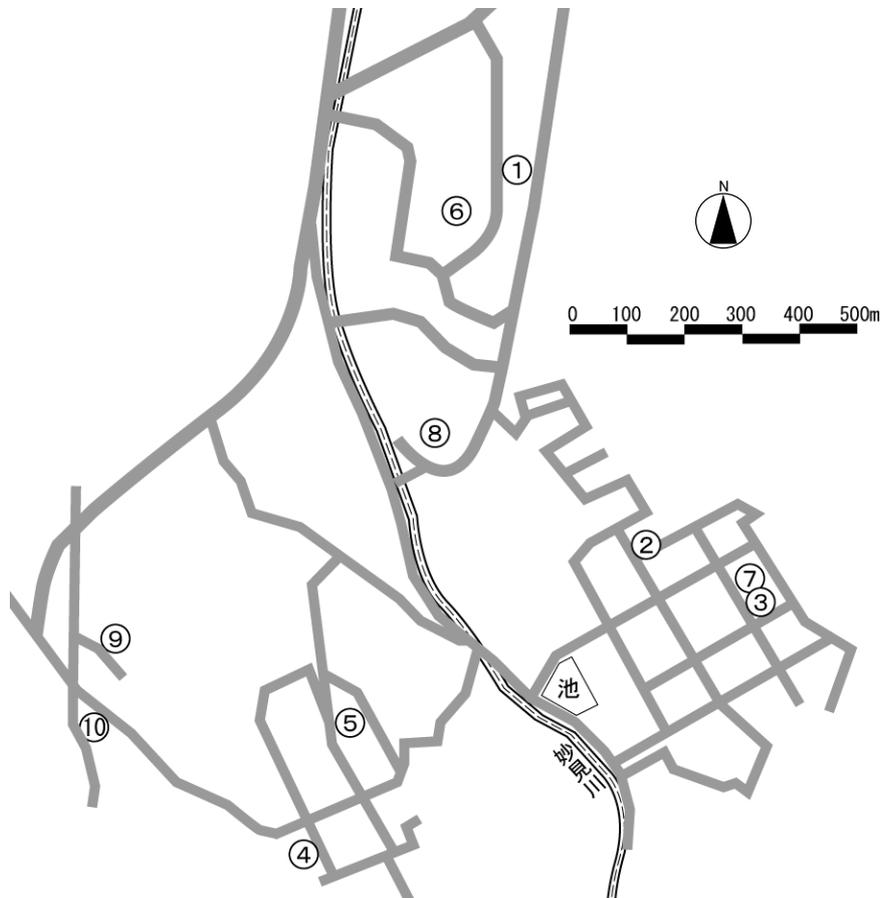
地域の資源

《拠点等》

- ①妙見坂自治会館
- ②妙見東自治会館
- ③妙見東自治センター
- ④南星台集会所
- ⑤南星台西公園
- ⑥妙見坂中央公園
- ⑦妙見東中央公園
- ⑧妙見坂小学校
- ⑨ケアハウスきんもくせい
- ⑩きんもくせい
特別養護老人ホーム

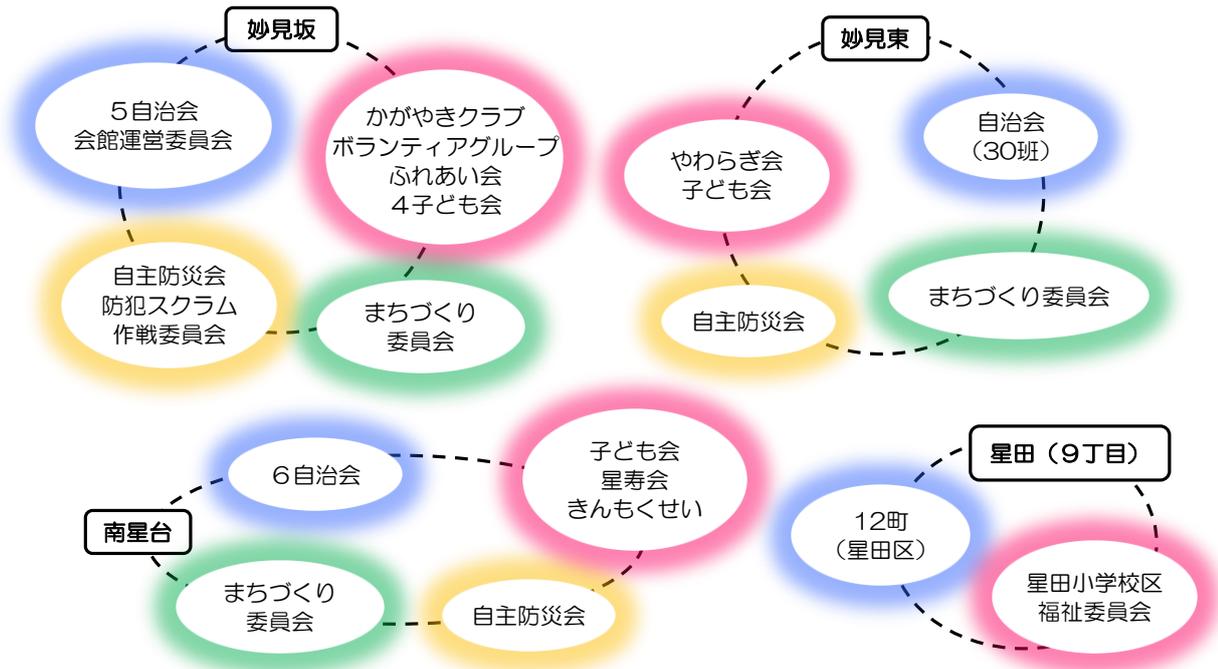
《人的資源》

- ・自治会数：12（+星田12町）
- ・校区福祉委員：60人
- ・民生委員児童委員：9人
- ・老人クラブ会員数：282人



私たちの取り組み（現況編）

地域の組織



現在の地域の取り組み

平成27年4月1日現在

《校区の活動》

- ・あいさつ・声かけ運動
- ・ふれあいサロン
- ・子育てサロン
- ・映画&喫茶
- ・世代間交流事業

《地区共通の活動》

- ・登下校時の学童見守り
- ・元気アップ体操
- ・さくら祭り、夏祭り、秋祭り
- ・もちつき大会
- ・作品展

- ・防災訓練
- ・歳末特別警戒
- ・地域清掃
- ・お誕生日会
- ・グランドゴルフ

《地区独自の活動》

妙見坂

- ・ふれあい喫茶憩い
- ・新春住民交流会
- ・摂南大学とのまちづくり研究

南星台

- ・ホテル観賞
- ・茶話会

妙見東

- ・星の池清掃
- ・星の池子ども解放
- ・フラダンス
- ・毎朝の健康体操

私たちの地域

地域のよいところ

- 住民の組織力がある。
- 福祉、まちづくり、防犯防災等多様な組織があり、幅広い地域活動が展開されている。
- 様々な技術や経験をもっている人材の宝庫である。
 - 例) マネジメントやコーディネート、営業、教職など
- 福祉施設や大学等との連携もとれている。
 - 例) 施設：地域のかげこみ寺としての相談窓口、認知症などの勉強会 大学：まちづくり

地域の福祉課題

	困りごと・課題
地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢化が問題。
地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ■近所づきあいがいい方が増えているように思う。 ■日頃のお隣同士の声かけが少なく、人間関係の希薄化が懸念。
利便性 交通事情	<ul style="list-style-type: none"> ■住みやすいが、交通が不便。車が使えなくなったら困る。 ■買い物難民がいる。 □急坂が多いため、高齢者や障がい者が徒歩で移動するのは困難。 □駅までが遠い。 □地域内に医療、福祉関係機関等が少ない。
地域支援 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ■気軽に相談できるようにする必要がある。 ■参加者が固定化して、来てほしい方になかなか参加してもらえない。 ■買い物難民対策が必要。 □一人で抱え込んでいる人が多いと思われるが、近隣が気になって相談につながらない。 □閉じこもりの可能性がある人がいる。
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> □一戸の土地が広いいため、中の様子が確認しづらく、防犯対策が必要。

■は地域懇談会であげられた課題 □は地域踏査票より

私たちのアクションプラン (平成28~32年度)

《妙見坂小学校区の目標》

**あいさつ運動をすすめ、地域福祉活動の活性化から
住民のつながりをひろげます。**

《私たちのこれからの取り組み》

1. あいさつ運動の充実

(地域のコミュニケーションとボランティア活動参加へのきっかけづくり)

- 子どもの見守り活動
- 高齢者への見守り、声かけ
- あいさつ運動による住民の交流機会の充実

2. いつでも集える、気軽に参加できる場づくり

(サロンや喫茶の充実)

- ふれあい喫茶や映画会の開催
- ふれあいサロンと子育てサロンの合同開催

3. PR活動の充実による地域福祉活動の活性化

(サロン活動の周知や、各種団体の連携強化による委員会活動の基盤整備)

- PR活動の充実
- 高齢者の生活支援
- 認知症や発達障がい等の理解促進

社会福祉法人 交野市社会福祉協議会
住所：〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 5-5-1
TEL：072-895-1185
FAX：072-895-1192
Mail：nijimaru@katano-shakyo.com
ホームページ：http://katano-shakyo.com